

東海北陸

Branch Report Vol.67

TOUKAI-HOKURIKU

2017. July

「杉原千畝人道の道」ルート沿いにある赤いレンガ倉庫



コストがわかれば 建築が見える!



公益社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部

The Building Surveyor's Institute of Japan (BSIJ) from Toukai-hokuriku Branch
<http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

支部長就任挨拶	支部長 硯谷 智彦	1
平成 29 年度 東海北陸支部定時総会報告		2・3
平成 28 年度 支部収支決算報告		4
平成 29 年度 事業計画		5・6
平成 29・30 年度 支部役員名簿・支部委員名簿		7～9
事業計画委員会だより	事業計画委員会 委員長 硯谷 将紀	10
会員委員会だより	会員委員会 委員長 中川 英人	10
資格制度委員会だより	資格制度委員会 委員長 古川 元	11
建築積算の学校教育【その②】	教育委員会 委員長 藤曲 充信	12～15
設計審査委員会だより	設計審査委員会 副委員長 西部 明宏	16
講習委員会だより	講習委員会 委員長 勝野 徹	16
データベース委員会だより	データベース委員会 委員長 加藤 一也	17
新役員挨拶	鹿島建設(株) 建設部・見積グループ 佐々木 太朗	17
	安田設計 安田 光利	18
	(株)フジタ名古屋支店 建設積算部 川本 通生	18
支部長表彰(支部役員10年)を受賞して	(株)竹中工務店 名古屋支店 見積部 山田 治	19
「感謝の辞」～思いつくままに～	前東海北陸支部長 小野 徹郎	20・21
「仕事を楽しむ愛用グッズ」	(株)縁 名古屋事務所 西野 未来	22
積算業務で感じたこと	(株)二葉積算 名古屋支社 村沢 佑梨	23
就業体験	名古屋市立工芸高等学校 建築システム科 2年 酒向 美緒	23
建設工学科の取り組み	岐阜県立岐阜工業高等学校 建設工学科 蓑島 尚信	24・25
データベース委員会より 続「コストデータ表」活用のご案内	データベース委員会 岩田 清逸	26・27
杉原千畝顕彰事業について	広報委員 桑名 利男	28・29
北陸だより	大谷建設積算事務所 代表 大谷 政信	30
岐阜だより	地域委員会 委員長 加藤 一也	31
静岡だより	(株)アイピーエス 長山 充裕	31
賛助会員名簿・建築積算士補認定校		32
平成 29 年度 (後半) 講習会のご案内	講習委員会	33
暑中お見舞い申し上げます		34～36
	株式会社 大成出版社	37
	協栄産業株式会社	38
編集後記		39
	TOMO データサービス株式会社	40

支部長就任挨拶



(公社)日本建築積算協会 東海北陸支部

支部長 砥谷 智彦

(株)砥谷建築積算事務所

今年度より東海北陸支部長を仰せつかりました砥谷でございます。

昭和55年の東海北陸支部設立当初から37年間協会活動に携わり数年前から引退を考えていましたが許される事なく今日に至りました。前支部長の小野先生には5期10年の長きにわたり支部を導いて頂きました。5期目の支部長選任時に次期支部長を私が受けることを前提とした経緯もあり今回の就任となりました。前任者が偉大過ぎた事もあり萎縮してしまいましたが、選ばれたからには精一杯役目を全うする覚悟です。

今年度の支部事業活動方針に、複数のワーキンググループを立ち上げ、支部役員10年未満の方々にお願いし役員全員が協会活動を楽しめる支部にするようにします。と掲げましたが役員歴10年未満でまだ実力を隠したままの方々に活躍の場を設け、協会活動を意義のあるものにして頂きたいと思っています。その為に以下のワーキンググループを立ち上げ、既に3WG共グループ長の下行動を開始しました。

*積算における質疑応答の現状と問題点

昨今の質疑応答に疑問を抱く事はありませんか？時代のせいなのかもしれませんがこんな事質疑しなくても分かるでしょとか、積算は図面チェック屋ではないですよとか、まだ多くの疑問があります。この問題を当協会が発信しなくてははいけません。建築八団体及び建設業協会等と連携して問題点の解決策を考えたい。

*建築コスト管理士の活用

建築コスト管理士の資格は取得したものの何か役に立ちましたか？

折角取得した資格を有効活用する方法を当協会でご考えませんか。積算協会の資格ですから責任があります。建築コスト管理士の中には既にリタイアされている方も多数いると想定出来ます。その方々が現役時代に蓄積した技術・経験を生かすミニ勉強会の開催等、継承されるべき事はたくさんあると思います。

*賛助会員の増強

賛助会員の増強目標を100社達成と大見得を切ってしまいました。会員増強は当協会にとっても大切な事業の一貫であり、協会の存続にも関わる問題でもあります。

役員30数名が一人三社で目標達成となりますが、それには昔ながらの会員勧誘の慣例を打破し、賛助会員にとって魅力ある特典とは何かをWGで考え、役員の皆様が勧誘し易く、企業が賛同して頂けるような案を期待しています。

「建築と積算」の支部長就任挨拶文と同じ挨拶文になりましたが、東海北陸支部発展の為にこの3課題を東海北陸支部の重点課題とし、役員一丸となり任期中に達成できるように頑張る所存であります。

よろしくご依頼致します。

平成29年度 東海北陸支部 定時総会報告

1. 日時 平成29年4月20日（木） 17:00～17:45
2. 会場 中日パレス（名古屋市中区栄四丁目-1-1 中日ビル5階）
3. 出席者 本人出席者30名 委任状213通 計243名
4. 議事

一、支部長挨拶



桜も終わり新緑の美しい季節になりましたが、会員の皆様にはお忙しい中、平成29年度の日本建築積算協会東海北陸支部総会にご出席いただき有り難うございます。また本部からは吉田会長をお迎えしております。お忙しい中有り難うございます。

自国の利益を最優先する保護主義あるいは、ポピュリズムのなせる技か、イギリスのEU離脱、アメリカ大統領選でのトランプ選出、欧州での移民排除の動き、極右勢力の台頭に加え、最近では中東問題における軍事衝突、ここ極東におけるきな臭い動きなど私の理解を超えることが起きています。これらの世界の動きは、自由主義経済、グローバル経済の中では我々の生活と経済活動と直結した問題で無関心ではおられません。

私たちの積算に関わる活動は本来経済活動の中心に据えられても不思議ではありません。特に建築では建物の性能に直結したものです。そのため最近の国土交通省の通達でもコスト管理に関連するものが多くなっています。あまり話題にたくはありませんが籠池氏の学園建設問題もコストに関わる問題とも言えます。建物の性能とコストを正しく評価して、性能に見合った適正価格の設定が評価される世の中でなければなりません。その適正価格算出の中心に居るのが我々積算業界です。我々は、建築という商品を競争原理の中で、性能を確保した上で、合理的な価格を設定し、提示出来る唯一の職能であり、いかなる状況の中でもその責務を果たしていかなければなりません。

東海北陸支部としてはこの後の議題にもあります活動方針を軸に、積算の重要性を社会的に再認識してもらうよう、活動してまいりますので、会員皆様方の一層のご協力、ご支援をお願いいたします。私共の挨拶といたします。

一、来賓ご挨拶

本部より吉田倬郎会長にご出席頂き、ご挨拶を頂戴致しました。

一、定足数の確認

本日の総会の本人出席者27名、委任状による出席者数213名、合計240名です。

平成29年4月1日現在の議決権を持つ正会員数397名に対し、過半数以上の出席がありますので本総会に必要な定足数を満たしていることを報告。

一、議案審議

■第1号議案 平成28年度事業報告承認の件

榎谷事業計画委員長から平成28年度事業報告の説明があり、審議に入る。

議長からご質問、ご意見のある方の発言を求めた。

特に発言がなく、満場の拍手で第1号議案を承認した。

■第2号議案 平成29年度事業計画に関する件



道家事務局長から平成28年度収支決算報告書の説明があり、審議に入る。

監事として佐野洋治監事から収支はいずれも正確であると報告があった。

議長からご質問、ご意見のある方の発言を求めた。

特に発言がなく、満場の拍手で第2号議案を承認した。

■報告事項1 平成29年度事業計画に関する件

劔谷事業計画委員長から平成29年度事業計画の説明があった。

■報告事項2 平成29年度収支予算に関する件

道家事務局長から平成29年度収支予算の説明があった。

一、会員表彰

公益社団法人日本建築積算協会 表彰規程第2条第2項の1により、今年度は山田治氏を表彰する。小野徹郎支部長より表彰状と記念品を贈呈。



一、平成29・30年度支部長・副支部長の選任

本日選任された役員（総会出席者）の互選により、支部長に劔谷智彦さん、副支部長に、川辺清次さん、藤井正王さん、林進さん、山田治さん、高島義昭を選任した。

一、劔谷智彦新支部長より就任の挨拶



今年度の事業計画にあるように、ワーキンググループを幾つか立ち上げて役員全員参加の協会活動が出来るようにしたい。その一つとして、質疑応答に関わるWGを最大の目玉とし、建築八団体をはじめ建設業協会等をも巻き込む活動を任期の2年間でやり遂げたいので役員の皆様の協力をお願いします。



平成28年度支部収支決算報告

収入の部

科 目	予算	決算	差異
人材育成及び認定事業	1,846,000	1,627,500	-218,500
社会人教育収入	1,846,000	1,627,500	-218,500
調査研究及び情報発信事業	900,000	899,558	-442
会誌発行収入	300,000	313,000	13,000
書籍出版収入	600,000	586,558	-13,442
評価評定及び相談事業	500,000	0	-500,000
法人評定受託収入	500,000	0	-500,000
その他	283,000	245,279	-37,721
支部運営金	3,530,000	4,570,000	1,040,000
一般運営金収益	3,530,000	4,570,000	1,040,000
当期収入計	7,059,000	7,342,337	283,337
前期繰越収支差額	8,507,798	8,507,798	0
収入合計	15,566,798	15,850,135	283,337

支出の部

科 目	予算	決算	差異
事業費	3,951,000	3,265,478	-685,522
人材育成事業費	2,372,000	2,193,783	-178,217
調査研究事業費	1,320,000	1,071,695	-248,305
評価評定事業支出	259,000	0	-259,000
管理費	7,777,000	7,377,847	-399,153
当期支出計	11,728,000	10,643,325	-1,084,675
当期収支差額	-4,669,000	-3,300,988	1,368,012
投資活動収入	0	3,500,278	3,500,278
当期繰越収支差額	3,838,798	8,707,088	4,868,290

平成 29 年度事業計画

I. 支部事業活動方針

昨年度事業計画に掲げた支部事業活動方針の中 1) ～ 4) の事業を継続し、今年度の新しい活動として複数のワーキンググループを立ち上げ幾つかの案件を支部役員 10 年未満程度の方々にお願いし、役員全員が協会活動を楽しめる支部にするよう支部事業を展開します。

- 1) 積算関連資格の重要性の社会的認知と活用についての周辺整備
- 2) 非会員資格者の会員化に重点を置いた会員の増強
- 3) 地域に根ざした会員サービスの向上
- 4) 地域での若手人材の育成と資格者への新しい知識修得支援
- 5) ワーキンググループの設置
 - ①積算における質疑応答の現状と問題点
 - ②建築コスト管理士の活用
 - ③賛助会員の増強
 - ④その他

積算における質疑応答の現状と問題点については、建築八団体と建設業協会を巻き込んだ大掛かりな案件と想像できる中で日本建築積算協会が主体となり問題点を解決したい。

建築コスト管理士の活用については、資格を取得しただけで眠ったままの人材を掘り起こし協会活動に協力をお願いする。

賛助会員の増強については、賛助会員 100 社を目標に掲げ達成する。

このように具体的な内容のワーキンググループを数多く設置し活動します。

又、本年度は建築八団体共催新年互礼会の幹事団体でもあります。役員のみならず支部会員各位の協力の中で積算協会らしい新年互礼会にする。

II. 支部委員会活動

◇事業計画委員会

- ①協会に新しい魅力を創出し、会勢拡大に努める。
- ②各委員会との調整を図る。
- ③会計処理の整備、予算管理の推進、事務局業務の効率化とコスト削減を図る。
- ④建築八団体共催新年互礼会を幹事団体として行う。

◇会員委員会

- ①会員・賛助会員の増加を図る。
- ②会員サービスの向上を図る。
情報提供・親睦事業
- ③建築コスト管理士の活躍の場を、協会専任講師として養成を図る。

◇広報委員会

- ①会員・賛助会員への情報提供誌として充実した支部報を継続して発行する。
- ②会員交流の場として、会員投稿ページを設ける。
- ③会員以外への広報活動の充実を図る。

◇ホームページ委員会

- ①広く一般の方にも「積算」を知っていただける場を提供する。
 - ・ホームページのわかりやすさ、活用のしやすさを図る。
- ②会員サービスの充実を図る。
 - ・素早い情報公開。

◇講習委員会

- ①各種研修会・講習会を積極的に実施する。
- ②地域部会が実施する積算研修会を支援する。
- ③地方の会社へ講師を派遣する出張講習会を開催する。

◇教育委員会

- ①建築積算士補の認定事業に伴う、大学・高専・工業高校・各種専門学校等の増加活動。
 1. 建築積算士補認定校の増加に向けた学校への訪問活動。
 2. インターンシップ受入れの積算事務所増加に向けた活動。
 3. 協会発行テキストによる積算教育導入の広報と、講師派遣及び資格試験への支援。
- ②講師交流会による問題点の検討及び推進（建築積算士補講座の教員向け講習の実施）
- ③大学向けの建築積算士受験講座の計画と支援。
- ④認定校への情報提供と支援。

◇資格制度委員会

- ①本部が実施する建築積算士試験、建築コスト管理士試験を支援する。
 - ・建築積算士一次試験（学科） 平成29年10月22日（日）
名古屋会場：名古屋栄ビルディング
 - ・建築積算士二次試験（実技） 平成30年 1月28日（日）
名古屋会場：昭和ビル 金沢会場：石川県勤労者福祉文化会館
 - ・建築コスト管理士試験 平成29年10月22日（日）
名古屋会場：昭和ビル 金沢会場：石川県勤労者福祉文化会館
- ②建築コスト管理士のCPD登録の促進と支援を行う。

◇設計審査委員会

設計審査システムの充実と設計審査制度の活用を広めるための活動をする。

◇データベース委員会

- ①ここが知りたい積算勉強会のQ&Aの未掲載分を整備して会員に公開すると共に過去の内容を見直す。
- ②将来解体時建設副産物のデータ化の充実を進め、ホームページ掲載のデータベース資料を広く活用できるよう支部報を利用して広報活動を推進する。
- ③物価版に掲載されていない単価表作成の方向性を決め、作成を進める。

◇地域委員会

- ①地域別勉強会を講習委員会と連携して資料をまとめた結果で実施する。
- ②各地域に出向き、新規会員の勧誘を行い、地域部会の更なる活性化を図る。

◇北陸支所

- ①建築コスト管理士のCPD登録の促進と支援を行う。
- ②地域の建築関連団体と連携し、建築積算に関する講習会を開催する。

平成29・30年度支部役員名簿

役職名	氏名	勤務先
顧問	杉浦 讓治	元(株)二葉積算
顧問	塚田 律夫	(一社)石川県建築士会
顧問	小野 徹郎	名古屋工業大学名誉教授
支部長	剛谷 智彦	(株)剛谷建築積算事務所
副支部長 事業計画委員会、 ホームページ委員会担当	川辺 清次	川辺建設(株)
副支部長 データベース委員会 会員委員会担当	藤井 正王	(株)みどり建築企画
副支部長 資格制度委員会、 設計審査委員会、 広報委員会担当 事業計画委員、会員委員、 データベース委員	林 進	(株)林積算
副支部長 講習委員会、教育委員会、 地域委員会担当 事業計画委員	山田 治	(株)竹中工務店 名古屋支店 見積部
副支部長 北陸支所長 広報委員	高島 義昭	(有)高島建築積算事務所
事業計画委員長 ホームページ委員長	剛谷 将紀	(株)剛谷建築積算事務所
会員委員長 事業計画副委員長	中川 英人	(株)二葉積算 名古屋支社
講習委員長	勝野 徹	(株)NTTファシリティズ 東海支店
教育委員長 事業計画委員	藤曲 充信	(株)アイピーエス
広報委員長 データベース委員 事業計画委員	堀田 淳二	(株)中建設計
資格制度委員長 教育副委員長 会員委員	古川 元	(株)縁 名古屋事務所
設計審査委員長 教育副委員長 講習委員 事業計画委員	伊藤 健藏	建築コストサポート
データベース委員長 地域委員 広報委員 事業計画委員	加藤 一也	大日本土木(株) 建築本部 建築部

役職名	氏名	勤務先
会 員 副 委 員 長 資 格 制 度 委 員 地 域 委 員	生 田 孝 文	生田一級建築設計室
データベース副委員長	岩 田 清 逸	(株)山下設計 中部支社
資格制度副委員長 データベース委員	植 田 隆 明	UDA建築事務所
講 習 委 員	鵜 飼 洋 行	(株)青島設計
データベース委員 教 育 委 員	宇 野 純 也	U. S設計室
資格制度委員	金 岡 文 徳	生和コーポレーション(株)
教 育 委 員	川 本 通 生	(株)フジタ 名古屋支店
講 習 委 員 教 育 委 員	木 原 陽	(株)竹中工務店 名古屋支店
講 習 委 員	清 原 猛 嗣	(株)熊谷組 名古屋支店
広 報 委 員	後 藤 学	大成建設(株) 名古屋支店
教 育 委 員	佐々木 太朗	鹿島建設(株) 中部支店
北 陸 副 支 所 長	諏 訪 淳	(株)三四五建築研究所
広 報 委 員	都 築 修	都築建築事務所
データベース委員	長 谷 川 脩	(株)浦野設計
広 報 副 委 員 長 ホ ー ム ペ ー ジ 委 員	松 本 利 治	栄興建設(株)
会 員 委 員	宮 西 繁	明峰積算事務所
会 員 委 員	森 義 則	(株)大林組 名古屋支店
地 域 副 委 員 長	安 田 光 利	安田設計
データベース副委員長	山 内 久 高	(株)日建設計
会 員 委 員	山 本 喜 久	神野建設(株)
データベース委員	渡 邊 國 雄	(株)伊藤建築設計事務所
設 計 審 査 委 員	和 田 浩 嗣	(株)棟建築企画
支 部 監 事 ホ ー ム ペ ー ジ 委 員	佐 野 洋 治	SANコスト企画
支 部 監 事 教 育 委 員	堀 田 富 士 雄	(株)押田建築設計事務所

平成29・30年度支部委員名簿

役職名	氏名	勤務先
事業計画委員	鈴木 保 二	(株)鈴木一級建築士事務所
会 員 委 員 員 資 格 制 度 委 員 員	松 本 裕 輔	松本建築積算事務所
広 報 副 委 員 長	長 山 充 裕	(株)アイピーエス 積算部
広 報 委 員	桑 名 利 男	中京倉庫(株)
広 報 委 員	山 田 貴	(株)中野積算 名古屋支社
教 育 委 員	桑 田 隆 行	元愛知県立碧南工業高等学校建築科
教 育 委 員 員 設 計 審 査 委 員 員	平 井 隆 志	鹿島建設(株) 中部支店
講 習 副 委 員 長 設 計 審 査 副 委 員 長 デ ー タ ベ ー ス 委 員	西 部 明 宏	(株)二葉積算 名古屋支社
講 習 副 委 員 長	小 栗 裕 重	小栗建築事務所
講 習 委 員	四 辻 靖 信	RSアーキー一級建築士事務所
講 習 委 員	池 田 素 久	(株)アイ・エス・エス 名古屋支店
講 習 委 員	奥 山 寛	(株)千田工業 名古屋支店
資 格 制 度 副 委 員 長	窪 田 和 則	有限会社 クボタ積算室
資 格 制 度 委 員	位 田 勝 彦	(株)中野積算 名古屋支社
資 格 制 度 委 員	中 沖 修 一	佐藤工業(株) 北陸支店
資 格 制 度 委 員	吉 開 慎 也	(株)アイピーエス 積算部
ホ ー ム ペ ー ジ 副 委 員 長	西 村 洋 司	(株)アイピーエス 積算部
ホ ー ム ペ ー ジ 委 員	小 中 利 文	(株)アイ・エス・エス 名古屋支店
デ ー タ ベ ー ス 委 員	石 脇 誠	(株)アイピーエス 積算部
設 計 審 査 委 員	松 平 久 芳	(一社)福井県建築住宅センター

事業計画委員会だより

事業計画委員会

委員長 劔谷 将紀

少し早いお話ですが、来年の「建築八団体 新年互例会」が2018年1月5日(金)に決まりました。場所は名古屋国際ホテル 2階・国際ホールです。

来年開催の新年互例会は、公益社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部が幹事となり運営する事となっています。私自身、過去に新年互例会は2回参加いたしました。建築八団体が集まる大きな会で、知事・市長等も挨拶に来るほどですので、圧倒されっぱなしでした。今回は運営する側ですので、とても責任の重い役割となります。なにぶん初めての経験ですので、何かから手をつけてよいのか… 6月に引継ぎの為打合せをさせて頂き、当日までの準備・当日の流れ・来賓の対応等ご説明いただきましたが、恐らく例年通りの準備を行えば大丈夫なのかな。とりあえずスタートはしたのですが、先輩方の助言を頂きながら参加して頂く方の1年の始まりとして、有意義な新年互例会を作れるように頑張りたいと思います。そして積算協会が幹事の年となりますので、多くの会員の方に参加して頂き、素晴らしい2018年を共にスタートしていきたいと思いますので、参加の方どうぞよろしく願いいたします。

また、第47回建築総合展が10月12(木)～14日(土)吹上ホールで行われます。こちらも建築八団体が作り上げる催しなのですが、これは私自身過去に1度も参加したことがありません。(申し訳ありません)よってどのような催しなのかは全くわからないのですが、これは建築士会はじめ積算協会を除いた7つの団体の方々と共に作り上げ、毎年開催なので他団体との交流も踏まえて勉強しながら経験を積み重ねていけたらと思っています。

会員委員として今思うこと

会員委員会

委員長 中川 英人

積算協会に籍を置いて30年近く経ちましたが、思い出すのが沖縄で行われた第13回全国大会(2008年)で松下順吉氏(元積算協会九州支部長/副会長)が「建築生産システムで積算技術者は常にリーダー」という演題で基調講演をなされときの積算資格認定についてのお話です。「積算という行為を技術的に的確に実行できる技術者、これを建築積算士及び、建築コスト管理士として民間団体の積算協会が作っています。こういう専門家の資格というのは、日本ではすぐに国の資格でありたい、したいという傾向があるが、専門家のレベルを計ることが出来るのはそれより熟達した専門家でないとは判るはずがない。単なる一日だけのペーパーテストで専門資格、ではちょっとおかしい。ですから積算協会が積算技術者の集団であれば積算協会の中でそういう積算技術を持っている人を認定していく。このほうが本当の意味の実力者といえる。」といった内容でした。社会的認知度はまだまだですが現在、設計プロポーザルやコンペにおいては国家資格ではない建築積算士の資格所持と経験を評価対象としており、自治体によっては積算業務に関する業務委託規定を特記され、改正品確法により更なる積算業務の専門性、重要性が明確に示される時代となっています。これらはまさしく当協会の先達の努力とたゆまぬ活動の積み重ねがあって、その上に今われわれ積算技術者としての職能が生かされ社会に貢献出来ているのだと思います。であれば、建築積算士、建築コスト管理士の資格で生業としている者としては積算協会を車の両輪、一対として考えるべきだと思っています。

積算協会に入る動機は何かを考えてみたとき、協会からの積算に関する情報が欲しい、業務とは別に積算業界発展のために協会活動で貢献したい、などの理由はあるでしょうが、まずは積算協会の会員であることがステータスになる、という自覚が出发点であってほしいと思います。

資格制度委員会だより

資格制度委員会

委員長 古川 元

暑中お見舞い申し上げます。

今年度より前任委員長「林委員長」のご指名により新しく委員長を任命されました、(株)縁の古川と申します。宜しくお願い致します。

平成 28 年度の建築積算士二次試験が実施されました。

建築積算士二次試験

平成 29 年 1 月 22 日 (日)

名古屋会場 昭和ビル

受験者 80 名 合格者 57 名

金沢会場 石川県勤労者福祉文化会館

受験者 6 名 合格者 6 名

東海北陸支部の建築積算士二次試験の合格率は 73%

全国の合格者 490 名、合格率 62%でした。

平成 29 年度の試験予定のご案内

建築積算士一次試験

平成 29 年 10 月 22 日 (日)

名古屋会場 名古屋栄ビルディング

建築コスト管理士試験

平成 29 年 10 月 22 日 (日)

名古屋会場 昭和ビル

金沢会場 石川県勤労者福祉文化会館

建築積算士二次試験

平成 30 年 1 月 28 日 (日)

名古屋会場 昭和ビル

建築積算士更新講習の受講について

建築積算士の更新講習の受講は、Eラーニング、又はDVDによる受講となっています。

どちらも受講が出来ない場合は、支部事務局までご相談ください。 052-264-0661

CPD 制度のご案内

平成 25 年度に建築コスト管理士資格を取得された方は平成 30 年 3 月までに CPD 単位取得が必要となります。登録更新に必要な単位数は 5 年間で 80 単位です。

下記の単位取得例をご参照の上、規定単位数を取得されますようご案内申し上げます。

1 平成 25 年度から 29 年度は毎年 16 単位必要。

①会誌「建築と積算」CPD 記事について
学習内容を記す。 上限 10 単位 / 1 年間

2 その他

①当協会本・支部総会出席 3 単位 × 2 回

②講習会等参加 1 単位 × 6 時間

③専門書購読。2 単位 × 6 冊

上限 12 単位 / 1 年間

④他団体機関紙購読。4 記事 × 1 単位

上限 4 単位 / 1 年間

継続能力開発 (CPD) 制度実施細目に必要履修単位の緩和措置が定められています。緩和措置を適用した場合の単位数は 5 年間で 50 単位です。

緩和措置適用の条件

1. 建築積算士取得後 20 年を超える場合

2. 1 級建築士取得後 25 年を超える場合

CPD 申請の詳細は、ホームページ (人材育成の CPD 欄) をご参照ください。

支部では支援サービスとして、ホームページからの登録・申請がわからない方、単位数が不足している方、パソコンの操作方法が苦手な方のお手伝いをしております。

詳しくは支部事務局まで問い合わせ下さい。

052-264-0661

建築積算の学校教育【その②】

教育委員会 委員長 藤曲 充信

暑さも本番を迎え、熱中症を防止する為の水
分補給が欠かせません。また、集中力を持続さ
せるのにも苦慮している今日この頃です。

前号は、『在学中の資格取得と建築知識習得の
建築積算授業に於いて』のアンケート調査の集
計結果と、学校の教育者側からの様々なご意見
の紹介や、今後の学校教育に於ける積算協会と
しての活動方針について掲載しました。今号で
は、講師交流会の開催の結果をご紹介します。

2月17日(金)16時より18時半まで中日
パレスにて講師交流会を開催し、学校側から大
学1校・専門学校2校・工業高校6校と、協会
側から6名の計15名の参加者で開催し、以下
の3項目について様々な意見を交わしました。

- ①建築積算士補資格認定制度についてのご意見
- ②建築積算士補資格者増員へのご意見・ご提案
- ③その他当協会全般に対するご意見等

始めに、小野支部長より、最近では若者が協会・
団体への興味と活動希望者がいない現状、会員減
少の難題や建築積算の重要性と適正な建築コスト
への信頼性に向けた国交省や建設業界の取組み、
建築積算の認識度や資格制度の認知度などのお話
がありました。更に、建築に携わる若い人達や
これから建築を学ぼうとする学生に対し、最前線
で教育している方々や学生の皆さんに、改めて建
築積算の重要性と建築積算とは何かを理解して頂
き、在学中に取得可能な建築積算士補、更には建
築積算士や建築コスト管理士など、上位資格を取
得する上でも建築積算士補は大変有効とのお話も
ありました。この教育制度を進めるには、現場で
活躍する教員の皆様のご協力が無ければ成立しな
い事と、当日お集まりの皆様方の中には、既に建
築積算士補制度を導入している先生方やこれから
導入を考えようと思っっている方々にお集まりを頂
き、この建築積算士補制度を含め現場の忌憚のな

いご意見を頂き、当協会としても更なるステップ
の機会にしたいとの挨拶がありました。

次に、ご出席頂いた方々の自己紹介及びアン
ケート調査集計結果の報告と対策活動に対する
積算教育の現状とご意見を伺いました。

※参加者の自己紹介と現状の取組み等

まずは認定校から、椋山女学園大学より、「生
活環境デザイン学科で実施中です。在学中に取
得できる資格は学生にも人気があり、対象は3
年生前期に建築積算施工の中で100名前後が受
講しています。1コマ90分を15コマ(積算と施工を
半々)で積算と施工ができる外部講師の方に依頼
しています。ただし、その後に建築積算を本格的
に学ぼうとしても、受入れられる教員がいな
い、出口としての就職先と応募が無いのが現状」
ですとのお話がありました。

東海工業専門学校からは、「建築工学科と大工技
術科で実施。本校は施工管理経験者が多く、積算
士保有者もおり授業見学と教材確認で2年目から
は学校側で対応しています。現在、建築系は4ク
ラスで積算をカリキュラムとして、50分授業を34
回(積算士補9回、見積作成17回、残りは士補補
習授業)実施しています。」との事でした。

名古屋市立工芸高等学校より、「以前から積算を
取入れており、認定校になって7年位経ち、建築
システム科2年生40名で実施中です。今では3年
生が積算士にチャレンジし、資格を取得する生徒
も出ています。実務を知らなくても合格できるか
と認識を新たにしています。ただし、建築積算は
できる生徒とできない生徒の差が激しく、教育方
法では苦慮しています。最初は協会より講師派遣
をして頂きましたが、校内研修制度を利用して、
先生方に3年間で3名(1年間)を積算事務所に赴
き建築積算を習得し、今では協会の支援が無くて
も学校側で全て対応しています。」との事。

浜松工業高等学校より、「士補制度以前から3年生を対象に施工課程(課題研究)の授業の中で積算実技を生徒全員に3日間で9時間、放課後の時間を利用して、積算士補の取得希望者約半数が受講しています。今年度までは協会からの講師派遣で実施していましたが、来年度より実技講習のみ講師派遣で対応し、積算士補の授業は学校側で実施する予定です。実技3日間9時間を全生徒対象、そして積算士補の授業5日間10時間を25名程度(希望生徒のみ)で実施する予定です。」とのお話を頂きました。

※ 積算士補制度導入を検討中の学校から

岐阜県立岐南工業高等学校より、「当校は積算のカリキュラムが現在なく、県内でもないかと思っています。3年生の進路指導で会社の方から積算もと聞かれる事があり、他県で実施されている内容を基に、授業やそれ以外で学習出来ないか様々な意見を参考にしたい。」との事でした。

岐阜県立岐阜総合学園高校からは、「岐南工業さんと同様に県内では積算のカリキュラムがないので、岐南さんと二校で協力し導入できればと思います。当高校では、3年生がほぼ4単位で2級施工を主に勉強していますが、積算を経験することで総合的に図面を読込む力がある程度つくのかなと思っています。ただし、積算業務に関する会社の求人がないのが現状ですが、ある程度長く勤めていると積算に携わっている卒業生もおりますので、今後のことも考え前向きに考えたいです。」とのお話がありました。

金沢市立工業高等学校より「当校では施工の教科の中で積算を扱っている程度です。就職した生徒から話を聞くと、積算に携わっている卒業生も多数いますので、他校のご意見を参考に検討したいと思っています。」との事でした。

愛知県立豊橋工業高等学校からは、「本校では2年生の施工授業の中で積算を少し扱っている程度です。積算士補の資格制度は知っていたが、教員に教えるだけの技量がなく、どうしたら積算について学ぶ機会があるのか、また生徒に伝えられるのか分か

らず、今日の意見交流会を通じて教えて頂きたいと思います。」とのお話がありました。

富山クリエイティブ専門学校より、「本校は建築学科で建築士取得することを中心にカリキュラムを組んでいますので、積算が少し疎かになっているのが現状です。卒業生が就職した後に、設計事務所や建設会社で施工管理業務の中で積算の分野に初めて接した際に、卒業生が訪ねてきて教えて欲しいと言う事があり、今日の交流会で勉強させて頂きたいと思います。

富山県は持家が多い県ですが、当校も二級建築士取得に向けた取組みをしており、専門学校としては就職に一番力を入れています。ただし、就職先は住宅産業が大半で、住宅産業の積算は設計ソフトと連携していて、図面を描くと自動的に数量も出てしまう物や、会社の中でマニュアル化されていて積算という部分が確立されてなく、積算としての重要性や必要性が無いのが現状で、どうしても建築士や施工管理に目が向いてします。ただし、設計事務所に就職した者の中には、公共工事に関連した積算業務に携わる卒業生も若干いますので、今回の交流会を通じて積算と言う分野もある程度考えて行かねばならないと思います。また、木造建築に関する積算業務として協会もアピールして頂けると学生自身も興味を持ち我々も動き易いです。最近では保護者の在学中に取得できる資格や就職先への関心度が高く意見も多いです。」とのお話でした。

①建築積算士補資格認定制度についてのご意見

1. 積算士補制度は、建築積算の授業1コマ90分を8コマ720時間とありますが、延べ時間や回数を確実に実施しなければ受験できませんか → あくまで、シラバスは原則的な一例です。それぞれの学校ごとの内情に合せたシラバスを検討し、認定校審査申請しますと、そのシラバスに対し協会から助言などがあります。その後の調整により認定校の承認が得られると思います。

2. 浜松工業さんでは、課題授業の中で3時間を3回9時間で認定して貰える可能性はありますか → 始めた当初は3時間を5日間実施しました

が、それでも認定校の承認は得られました。その後、講師からの要請で1日延長し6日間に変更しました。現在は生徒全員を対象に9時間実技の講義を行い、その後積算士補の挑戦者向けにテキストを基に放課後16時より2時間、5回の20時間程度の講義になっています。協会も集中講座という形式でも講義を受けた事を認めておりますので、この様な形式からでも取組んで頂ければ、学生にとっても非常に良い事と思います。また、就職した会社では、高校での教育で此れだけやって頂ければと大変喜ばれています。

3. 集中講義で、例えば夏休みや冬休みに申請を行っている学校がありますか → 一昨年ですが、島田工業にて7月から8月に掛け一日4時間を5回実施しました。ただし、各学校の諸事情を考えて申請して頂ければ協会としても前向きに検討致します。また、講師不足については協会に相談して頂ければ、今年度は無理としても来年度でしたら各地域に講師ができる人がおりますので、特に心配しなくて良いかと思えます。

4. 我が校では、カリキュラムに入れることは中々難しく、長期休みの活用や課題研究時間の一部を使って希望者だけと考えているものの、やっぱり金銭的な事がどうしても引っ掛かっており、岐阜県は特に厳しく講師料や交通費を支払えないのが現状です。私たち建設系でも現場見学に行くとしても建設協会を通じてようやく実現でき、学校側としては一切負担出来ていません。そこを上手くやる事ができるか知恵を頂きたい → 東海北陸としても講師の費用について如実にありました。カリキュラムを新たに設定する事は難しいとしても、社会的な状況の中では積算の重要性は国交省の指導も最近コストに対し高まっていて、世の中の需要としては伸びていると思えます。

5. 工業高校ではカリキュラムを変更する場合は、中々難しい事なのか、何か問題になっているのか → 施工課題の中に積算があり問題があるわけではないが、時間的な制約もあるので中々難しい。また、独立させて積算を設ける事は難しいです。

6. もしも、文科省から学習指導要領に積算の重要性について記載されれば学校側としても動きやすいのか → 前回、構造計算偽装の姉歯問題の時に、文科省からモラル向上について学習指導要領に記述があり、文科省のお墨付きがあれば遣り易いです。その場合、学習指導要領の解説に「コスト意識が分かる様にする」など記述されればなおさら良いです。

7. 課題研究の中で積算授業を行っていますか、認定校での施工単位数はどの程度ありますか → 浜松工業の場合は、2単位以上で3単位を積算に当てている。名古屋市立工芸の場合は、2単位を積算、2単位を施工の中から4単位を施工の授業として積算に当てている。只、各教科の先生方でのせめぎ合いです。大学でも施工2単位ですが、施工の中で15コマの半分を積算に割当ててもらえば受験資格を取得できる様に協会と合意されています。

② 建築積算士補資格者増員へのご意見・ご提案

1. 今日新しく積算士補制度を取入れても良いかなと思われる先生方がいる中で、大学で在学中に取得できる資格は案外少なく、各教育機関が積算士補制度に興味を持って頂けるのは大変有難いことです。大学側としては、経営的な面から受験生に対して様々な受験資格が取れますなど、募集要項に記載する事が出来ます。

2. 在学中に取得した資格があった場合に、AO入試や推薦入学などで何らかのポイントが加算されるのか → どの大学も基本的に資格を取得していても点数に反映されることはなく、どんな勉強を学んできたのか、審査をする上で生徒のやる気や建築に興味があるかなど、本気度の判断として参考になります。

3. 建築積算士の資格を持っていた場合、入札参加資格などに有利になりますか → 建築積算士を持っていると、プロポーザルなどで評価点数に加算されるため、例えば設計事務所が積算事務所と連携することも実際にあります。また、建築積算士の資格は、ゼネコン向けと考えていると思いますが、実際は設計事務所にとって大変重要で、名

前を出さなければならぬのが設計事務所です。どう言う積算士がいるのか資格者番号を出して登録されます。設計事務所は必ず本人の名前がでます。工業高校でもゼネコンだけでなく、設計事務所への就職も考えてもらいたい。技術系の女性の配属先は積算課が多く、積算士補制度を活用してもらいたい。また、ゼネコンも女性採用は2割程度あります。女性の場合はライフプランを考えると、結婚やお産などで長期リタイヤもある中で、現場で忙しい時期などに積算経験があると戻り易くなります。女子生徒がいましたら、そういう観点からも進めて頂くと良いかと思えます。

私の場合、積算が重要視された時期で5年間積算を経験しました。積算を知ったことで数量を積算基準に従って積算することで、現場所長や設計事務所から信頼され自信にも繋がり、数量が分かることで施工日数がどの程度掛るか分かることで工程計画も出来るようになりました。

4. 認定校で実施されている積算士補の試験を受けられて試験の内容について何かありますか → 試験そのものは2択形式なので、一通り自分で勉強すれば何とかできますが、やはり一定時間の授業を受けることが最も辛い様です。生徒からすると、現場を知らないで数量や型枠・鉄筋・コンクリートにしてもイメージが出来ないこともあり、実際のイメージが出来る様に、写真・模型やパワーポイントなどを駆使して、授業してもらえたらと思えます。出来ましたら協会側にて補助となるパワーポイントなどを用意してもらえると大変助かります。講師の方に今の話題性がある時事ネタを入れると、生徒も興味を持って授業を受けると思えます。また、エクセルやスマホなどのツール利用も検討してもらいたい。

5. 講師派遣の費用はどの程度の負担か教えて下さい → 我が校としては非常勤講師料と同程度の費用としてお支払しております。

協会としても講師派遣の要請にはお答えできる準備は整っており、費用面はある程度ご負担願いますが、現状では学校側にて負担できる範囲の費用でお願いしています。各学校の状況にもよりますが、

初年度は講義のやり方や積算を知らない方もいますので、その場合は講師の派遣要請を当協会にご相談して頂き、次年度から学校側にて講義を実施して頂ければ幸いです。また、各学校の卒業生の中でゼネコンや積算事務所に就職し、建築積算士を持っている方もおられますので、卒業生に頼むのも一つの方法かと思えます。

6. 先ほどお話しした様に、岐阜県内は時間や費用面からすると中々厳しいため、例えばですが工業高校の2校で希望者だけを学校の授業としてではなく、地域として積算士補制度を導入することは可能ですか → この認定制度は、あくまで学校内の授業において実施される事を前提にしております。建築積算の重要性と必要性、更には建築の基礎知識を学んで頂き、そして積算士補を取得し建築への興味を持ってもらう事を目的としています。従いまして、地域での認定は難しいと思われます。ただし、何らかの方法がないか東海北陸支部としても検討し、且つ本部にも相談したいと思えます。

資格に於いて積算士補もそうですが、積算士も内申書に付け加えて頂ければ大変有難いです。

積算協会としても、設計やデザインの分野に負けない様に、建築積算の重要性をアピールしたいと思います。専門性のある仕事を習得すると食う事には困らないと昔から言われています。積算は専門職ですから特に女性の方々に広報活動をして頂きたいと思えます。

当協会が発行している支部報がございしますが、その中で学校紹介を連載しています。協会が知っている学校も最近は少なくなりネタ切れ状態です。もし、よろしかったら、学校の広報を兼ねて投稿してもらえますと大変助かります。

今回はお忙しい中、当協会の講師交流会にご参加して頂きました先生方には誠に有難うございました。最前線でご苦労されている先生方の貴重なご意見を参考に、本部・支部そして教育委員会としても新たなステップへの機会となる様、建築積算の普及活動に邁進したいと思います。

設計審査委員会だより

設計審査委員会

副委員長 西部 明宏

設計審査は昨年2月以降、審査依頼は入っていない状況です。

建築主・建築発注御担当の皆様の中で設計書・工事内訳明細の内容について、疑問に思った点はないでしょうか。この項目は図面でどこに該当するのだろうか、この数量は多いような気がするが適切なのだろうか、この項目の単価は妥当なのだろうか。また、一式で計上されているが内容がよくわからないなど。このような積み重ねが発注者側の予算の妥当性もしくは施工者側からの見積りの妥当性を総じて疑問となる要因に繋がるのではないのでしょうか。設計審査はそんな疑問の解決の手助けとなる、ひとつの機関です。

第三者による工事内訳書の確認が必要となりましたら、当積算協会の設計審査委員会にご依頼ください。

さて東京では2020年東京オリンピックの開催に向けて、会場施設などの建設の直接的なものに限らず、民間物件もこれを期に新築・増改築・修繕へと建築投資・建築需要が今後2年はますます進んでいくと思います。

では名古屋はどうでしょうか。名古屋駅周辺は人が増えました。JRゲートタワー・JPタワー名古屋・大名古屋ビルディングなど高層ビル（オフィス・商業施設・ホテル）の建て替えによって、オフィスで働く人が増える、新しい店が開店して人が集まる。そして街が活性化される。何より建物が新しくなることで人々の気分も一新されます。名古屋駅前、建築物の創り出した経済効果を目の当たりしているような気がします。またその中でも注目はシンフォニー豊田ビルを經由する地下回廊です。この開通経路には私は感激しました。飲食店も並んでいて面白いです。この地域の再開発はまだまだ続きそうです。

皆さまの街はいかがですか。

講習委員会だより

講習委員会

委員長 勝野 徹

本格的な暑さになってまいりましたが、元気に頑張りましょう！

6月21日に第1回講習委員会を開催し、【現在までの講習会状況】と、【今後の講習会日程】の確認をしました。

「講習会状況」の中では、今までも問題になっていたことですが、「理解度が低い」・「理解度の確認ができない」という意見がありました。

この問題点・改善点には、「講習参加者の学習意欲」と「講師の説明方法」と「テキストのわかりやすさ」等があるように思います。

今回、テキストのひとつである「建築積算士ガイドブック」を今一度読み返してみました。積算マンにとってのスキル・知識がわかりやすく掲載されているな・・・と感心しました。

しかし、われわれはこの内容を積算未経験者、講習参加者に伝えなければなりません。説明する手法を、考えなければいけないなと思いました。楽しく学習できることも考えたいと思います。

例えば

【数量拾いのビジュアル化】

【楽しく積算している写真の掲載】

【マンガ化】

等いろいろ考えてみたいです。

そして、「少し暗いイメージだった卓球・将棋が、若手の実力向上によって脚光を浴びた」ように、「若手にわかりやすく伝えることによって、建築積算も更に脚光を浴びるようにできたらいいなと思います。」

楽しく頑張りましょう！



データベース委員会だより

データベース委員会

委員長 加藤 一也

平成 28 年度の活動内容は『積算基準にない事項への対応事例』がホームページに掲載できるまでに至りました。各委員並びに関係者各位の協力により積算基準の利用者の立場として事案への『対処のよりどころ』を示す目的にて実施し、データベース委員会で作成した判断が難しい項目、困っている 44 項目をアンケート方式によりまとめられています。(但し、会員限定ではありますが)

この文面にて協力いただいた関係各位の皆様方には深くお礼申し上げます。

アンケート結果は、本当にこれが正解(答え)と言うものでは有りません。関係各位で積算の仕事に携わる方々に対して何らかの指標(目安)になったのではないかと考えています。

しかしながら現段階では『道半ば』であると言う気がしてなりません。平成 29 年度はこのテーマを含め、下記の 2 テーマに取り組み、更なる問題点の解消に取り組み、会員の方々の要望に応じていけるようにと考えています。平成 29 年度のテーマとして

- 1、『積算基準にない事項への対応事例』について項目の追加及び回答内容の検証により他の委員会と調整を取り方向性を決める。
- 2、『ここが知りたい積算勉強会の Q & A』について、講習委員会が取組もうとしている『鉄骨足場の積算(仮設治具、実際の吊足場等)を知りたい』に参加して情報を収集すると共に、過去の未掲載部分を整備する。

日本列島の各地で発生する地震により建物が崩壊して行く現状を目のあたりにして『将来解体時建設副産物のデータ』に対して新耐震建築物の情報収集をしたい目標もありますが今年度は 2 項目に絞って会員の皆様方のそれぞれの立場から貴重な意見要望をいただき、さらに充実したデータベースの構築を目指したいと考えております。

～ 新役員挨拶 ～

自己紹介

鹿島建設(株) 建築部・見積グループ
佐々木 太郎

このたび新しく支部役員になりました、鹿島建設の佐々木です。よろしくお願ひいたします。

昭和 42 年生まれの 50 歳、小学校より名古屋で育ち大学まで過ごしました。平成 5 年施工系入社で新入社員時代の大阪勤務以外はずっと中部支店管轄勤務ですが、今では現場勤務より支店(見積)勤務が長くなりつつあります。プライベートでは妻と息子に犬 3 匹と、人と犬の勢力が同じ状況で暮らしています。

業務の中では積算・見積ともに必要性は認識されていますが、厳しい業務期間や対応する人員不足などについては昔からあまり変わっていないように常々感じています。協会活動を通じて、そのような現状に何か変化をもたらす一助になることができればと思っています。

また、役員名簿を拝見しますと、お付き合いのある積算事務所の方や、お会いしたことのある設計事務所の方などのお名前も見受けられ、仕事とは別に交流を深めさせていただければとも思っています。

微力ではありますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



～ 新役員挨拶 ～

個人事務所から法人化へ

安田 設計
安田 光利



この程、協会の役員を務めさせていただく事になりました。安田設計の安田です。7月12日に業務拡大の為、法人化して株式会社安田設計にします。所員の保証及び建築設計従事者の担い手の確保をするには、個人事務所の形態では社会保障の不安で人が集まりません。また、諸官庁の業務範囲、民間建設会社の下請け受注に制限を感じましてこの厳しい時代を乗り越えたく法人化をします。

統計によりますと、平成10年ごろには一級建築士の試験を五万六千人受験しています。平成28年には二万六千人で、約20年で約半減しています。建築系大学等の生徒数の減少は、ほぼ無いと聞いています。しかしながら数字でわかるように建築従事者が減って設計や積算の人材を確保することが厳しいです。また、役所の業務委託契約条項として「適正な労働条件の確保」の特約条項が追加されまして、労働時間・賃金等について調査され、場合によって契約解除になります。民間建設会社の下請けについても個人事務所では、設計規模等の制限を受ける状況です。数少ない仕事を確保するには必要な法人化と考えます。

昔のように腕一本で仕事ができるよき時代は終わった気がします。今後は、協会の役員としてお役にたてるよう頑張りますので会員の皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。

昔のように腕一本で仕事ができるよき時代は終わった気がします。

今後は、協会の役員としてお役にたてるよう頑張りますので会員の皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。

～ 新役員挨拶 ～

ご挨拶

株式会社フジタ名古屋支店 建築積算部
川本 通生

このたび教育委員となりました株式会社フジタの川本と申します。よろしくお願ひします。

私は昭和43年8月6日生まれで、まだ50代ではありません。髪の毛に少し白いものが混ざっている為、40代だと言うと「エッ」とおどろかれる方もいますが、年齢をごまかしているわけではありません。生まれも育ちも現在住んでいる長久手市です。社会人となって横浜・東京に数年勤務した以外は東海地方で生活してきました。入社して7～8年は施工管理をしていて、積算業務に携わるようになったのは2000年頃からのので、気がつけば16～7年経ってしまいました。この間協会の活動にはほとんど参加していなかったのですが（忘年会には何度かお邪魔させて頂きました。） 榎谷会長から協会の手伝いをしてほしいと言われ今年から参加させて頂くことになったのですが、まさか役員になるとはと驚いています。

人手不足の中、社会は長時間労働抑制に急速に向かっており、現状とのギャップを皆感じているのではないのでしょうか。生産性向上とかBIM化といったことが我が社でも盛んに言われています。10年後には積算も大きく変わっていくのでしょうか？この変化に対応していくことも今後の課題の1つではないのでしょうか？



少し真面目な事を書いてしまいましたが、皆様と同様に私もお酒を飲む事が好きなのでいつでも声を掛けて下さい。微力ではありますが少しでも力になれるようがんばります。よろしくお願ひします。

支部長表彰（支部役員10年）を受賞して！

（株）竹中工務店 名古屋支店

見積部 山田 治

この度支部役員を10年継続しましたので、名誉ある支部長表彰をいただきました。諸先輩役員の中には20年以上の方々も大勢見えますので、やっと半人前かなと思っています。二月には還暦を迎え三月一杯で現役生活に終止符を打ち、今は後進の指導・支援を主な業務とした嘱託人生を送っております。

現役時代は一日が早く、また一週間も早く結果この10年間はあっという間でした。現在一日は長く感じられるものの、やはり一週間は早く感じます。これは歳のせいなのでしょう。

周りの先輩（OB）からは、ストレスがなくなり顔つきが丸くなったとか、白髪の進行がとまったとか色々言われますが、余裕ができた事が一番大きいのだと自分自身では感じております。

さて積算協会での10年間を振り返りますと、初めのうちは右も左もわからず、会社の先輩である佐野洋治さん（現監事）の仰せの通り、何事も気持ちよく引き受けていました。新米でありながら、委員会が三つ、二年目からは更新講習会の講師、三年目からはここ知り勉強会の世話役と、多忙を極め（半分は楽しかった）でしたが、役員諸氏のご協力の元なんとかやり遂げた感があり、充実した日々でした。

その間色々な職域の方々と出会い、お互いに色々な意見をおつけ合い、また別席で本音を語らいました。設計事務所・積算事務所の世界を知り、お互いの仕事を尊重し理解する一方、自分の視野の狭さも痛感しました。皆で「積算・見積・コスト管理」の事を熱く語る中で自分自身も改めて重要性を再認識しました。

これからは自分の時間を有意義に使おうと、趣味の時間を増やす努力をしています。正月明けは、大須の寄席に顔を出し、久々の映画は（君の名は。）

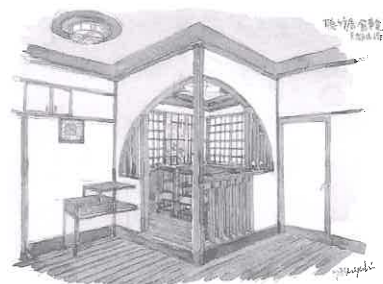
シニア料金で観る等、感動を求めて出歩く様になっています。先日もお休みを頂き京都へ日帰り旅行に行ってきました。行きは鈍行でのんびりと田植え前後の車窓を楽しみながらの旅です。（こう見えても自称乗り鉄です）あのガタンゴトンと揺れる感触がたまらなく大好きです。

今回は大山崎にあります日本で最初に「環境共生住宅」を志向した建築家藤井厚二の「聴竹居」を見学に行きました。彼は約1万2千坪の土地（山林）に居住、実験、改善を加えながら次々と自邸「実験住宅」を建て、その完成形とした第5回住宅が「聴竹居」です。築90年ですがオール電化、地熱利用、電気冷蔵庫も使用しました。

1. 自然エネルギーを生かした建築計画
2. 洋風と和風、モダンを統合したデザイン
3. 住まいの原型の居間中心のプランニング
4. ライフスタイル全体をデザイン

彼は家具、照明、絨毯、陶器（瓦、内装タイル）など生活のあらゆるものをデザインしました。生家が十数代続く広島県福山市の造り酒屋であり、恵まれた財力を活用できました。「平屋で約70坪ですが、今ならいくらぐらいでしょうかね」と、ガイドの方に尋ねられました。

大工さんは伊勢神宮に携わった宮大工さんの事、木材は全て無垢材、ディテールも工夫を凝らしてあります。ズバリ3億（坪400万UP）は下らないなと思った次第です。予約制ですが興味のある方は是非一度足をお運びください。





「感謝の辞」 ～思いつくままに～

前東海北陸支部長 小野 徹郎

(名古屋工業大学名誉教授)

皆さまご承知のことと思いますが、先の支部総会、本部総会を経てこのたび日本積算協会東海支部長を退任することになりました。支部会員の皆様、特に役員の方々には長い間大変お世話になりました。思い起こせば、まだ名古屋工業大学に在任中、支部役員の川辺さんから支部長のお話がありました。私は建築構造が専門で積算の素人ですので強くお断りしていました。しかし定年の前年に、当時の杉浦支部長をはじめとして役員の方々5～6人が研究室においでになり強く要請され、2年2期4年ということでお受けしたのですが、結果的にずるずると10年務めることとなってしまいました。その結果、副支部長をはじめとして支部役員の方々はもちろん、多くの会員の方々にご迷惑をおかけしたのではないかと考えています。

積算については全くの素人であった私が、支部長をお引き受けしたのには専門外からの視点も協会の運営にお役に立つ部分もあるのかなと思ったことも事実です。支部長になってから積算業務について勉強する中で、わが国では積算が建築生産の流れの下方に位置付けられているなど感じました。英国ではコスト管理は設計も含めた建築生産で、大きく重要な位置を占めています。また現在、わが国では高等教育機関での建築教育に建築積算はほとんど含まれていないと言っても過言ではありません。その大きな要因を素人なりに考えたとき、私は「積算学」の未成熟に大きな原因があるのではないかと考えました。論理的な「学」が確立されていなければ高等教育に取り込みづらく、積算が単なる数量拾いになっているのではないかと考えたのです。でもこれは素人の勘違いでした。本来、積算業務は経済から工学まで含めた幅広い知識と

見識が必要であり、それらを体系づけた「積算学」を核として、先の社会情勢、経済情勢までも勘案して行われなければなりません。そのことは社会・経済活動の川上に位置するものであることを示しています。協会はもとより、会員がその意識と誇りを持って自己研鑽に努め、積算の重要性を社会に働きかけることが重要です。

この10年、協会を取り巻く環境は大きく変化しました。法人制度の改革、会員の減少、財政の立て直し、国際会議開催など多くの課題があり、それなりに会員の方々にもご心配をおかけしましたが、本部との連携のもと皆様方のご協力を得てなんとか対応してきました。なかでも若者への積算の浸透を図ることを目指した、教育機関での積算講義の導入拡大に関して、東海北陸支部が全国の先頭に立って進めることができましたのは、支部役員はじめ教育委員会の藤曲さんの努力に負う所大でありました。その一環として、積算士補という資格を当時の野呂副会長の旗振りのもと設定されました。この施策はとてもタイムリーでいい結果を生んでいると思います。今後これらの制度を社会に根付かせていくことが重要な課題だと思います。

また支部長在任中に支部報に幾つかの拙文を書かせていただきましたこともいい思い出です。支部報に掲載された拙文のタイトルだけ並べてみますと、「支部長就任に当たって思うこと」「積算の果たすべき役割」「門外漢の戯言」「困難な状況下での積算業界の役割」「困難な状況下で我々が為すべきこと」「積算の時代を育もう」「教育について思うこと」「価値と価格の話」「東日本大震災に寄せて」「自然と人間」「デンマーク国の話」「公益社団法人としての出発」「工学的合理性と建築」「本当のおもてなし」「積算業務

の再評価」「戦争が出来る国は幸せか?」「積算と建築業界の変革」「東欧を訪れて思うこと」「次に来るものへの期待と不安」「東欧（中欧）を訪れて-歴史から学ぶもの-」等です。

こうして眺めてみますと、たった10年ですがその時々々の社会の流れが見えてくる気がします。耐震偽装問題に端を発した制度改革の波が押し寄せ、確認機関の民営化とそれに伴う確認申請の厳格化、建築士受験制度の改革、構造・設備設計についての資格制度の新設などがあり、建築界は翻弄されました。法人制度の改革に対する対応と財政再建は協会にとって大きな課題で、かなり議論をいたしました。社会的には安保法制、自衛隊の海外派遣、共謀罪成立などの国内問題、対外的には英国のEU離脱、トランプ政権の樹立など内向きで、保護主義的、排他的な空気が世界を覆いました。安保法制の国会議論の頃、反戦の視点から寄稿した拙文「戦争が出来る国は幸せか?」では「平和ボケ」と反論されたり（平和ボケなのは「戦争の怖さ」を知らないのは貴方では?と心の中で反論）、原子力エネルギー、環境問題に関する拙文で引用した、内村鑑三著「デンマーク国の話」（岩波文庫）、ルグウィン著、清水真砂子訳「ゲド戦記」（岩波書店）や「次に来るものへの期待と不安」の中で、ハンナ・アーレントの「エルサレムのアイヒマン」（みすず書房）を取り上げたら、読まれた方からそれらの著書を是非読んでみたいとのお話をいただいたことも懐かしく思い出します。活字情報の伝達力の素晴らしさを改めて認識しました。国際会議で訪れたポーランドとチェコで、国家のあり方を見つめなおす良い機会を得て寄稿した「東欧（中欧）を訪れて-歴史から学ぶもの-」もそれなりの反響をいただきました。最近読んだポーランドを舞台とした須賀しのぶ著「また、桜の国で」（祥伝社）が深く心にしみました。この小説は第2次世界大戦直前、ポーランドの日本大使館に赴任した若き外交官（書記生）棚倉 慎と友人たちとの戦時下での苦悩と希望を

鮮やかに描いています。慎はロシア人の父と日本人の母の間に生まれ、父の血を濃く引いていた少年慎は日本である種の疎外感、違和感を持って暮らしていました。外交官になった慎は、欧州の中でも親日的なポーランドのワルシャワに赴任します。ポーランドは前にも書いたように、常に周辺の大國に翻弄され國家が消滅する歴史を持ちます。ナチが台頭する中、新たな脅威にさらされていたポーランドで、戦争回避を願う大使と共に外交活動しますがついにナチスドイツはポーランドに侵攻します。ゲッローが建設され非人道的なユダヤ人迫害を目の当たりにし、ワルシャワ蜂起ではドイツ軍の戦闘行為に抵抗し絶望的な戦いをしますが……。国家とは何か、民族とは何か、アイデンティティーとは、平和とは、戦争とは、困難な状況下で人間として個人としてどう生きるのか等多くの問題を提起し考えさせられる小説です。私がこれを読むきっかけとなったのは、この作品が2017年の第4回高校生直木賞に選出されたことでした。高校生直木賞はその年の直木賞候補作品から高校生だけで議論し投票で決めるものです。その年の直木賞作品「蜜蜂と遠雷」を抑えてこの作品を高校生が選んだことを知って、作品もさることながら若い世代に対する安心感と期待が膨らみました。この作品の一節を引用します。『国を愛する心は、上から植え付けられるものでは断じてない。まして、他国や他の民族への憎悪を糧に培われるものであってはならない』ぜひお読みいただきたいと思います。

次の支部長剛谷さんは積算のプロ中のプロであり、お人柄も素晴らしく安心して退任できます。退任できてホッとしています。これまでお世話になった方々にお会いする機会が減ることは少し寂しい気もしていますが、長い歴史のある積算協会及び同東海北陸支部と会員の皆様の益々の発展を祈念いたしまして感謝の辞とさせていただきます。本当にありがとうございます。（「建築と積算」'17夏号寄稿を改題加筆）

『仕事を楽しむ愛用グッズ』

(株) 縁 名古屋事務所

西野 未来



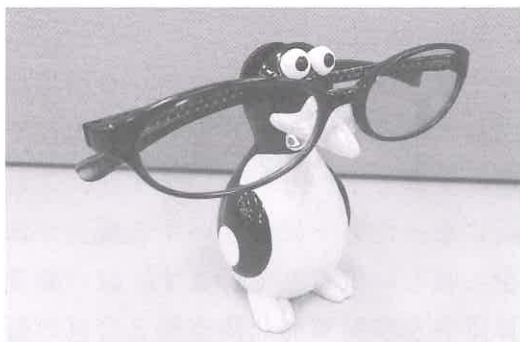
私が積算という仕事に出会ったのは大学4年次のときでした。そのときは建築学科にいたにもかかわらず、積算という言葉は知らず、就職活動中に初めて目にしました。縁に入社した当初は積算自体が未知の世界で、

覚えていくのがやっとでした。それからは、先輩や上司に質問をしたり、実際に現場や建物を見ることによって、徐々にではありますが、いくらかの余裕を持って仕事に取り組めるようになりました。

あれから4年、仕事にも慣れ、自分なりに仕事を楽しむ工夫ができるようにもなりました。今回はそんな中で見つけたお気に入りのグッズを紹介したいと思います。

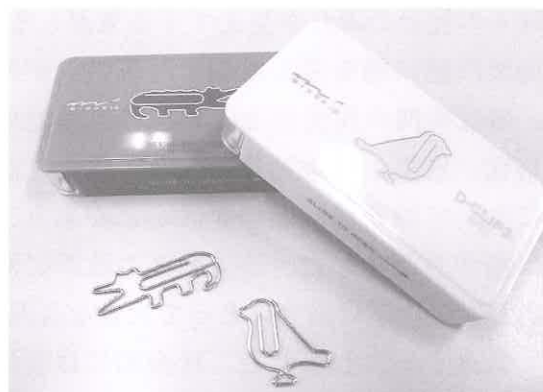
まず、『ブルーライトカットメガネ』。長時間のパソコン作業で目が疲れたときや、疲れる前の予防にとっても効果的です。実際つけているのといないのでは、夕方の疲労度に大きく関わってきます。

ちなみにメガネが置かれているペンギンは、友人から誕生日のプレゼントにもらったものです。フォルムがかわいらしく、ふとしたときに見ては、心を和ませてくれます。メガネは目の癒しですが、こちらはちょっとした心の癒しです。

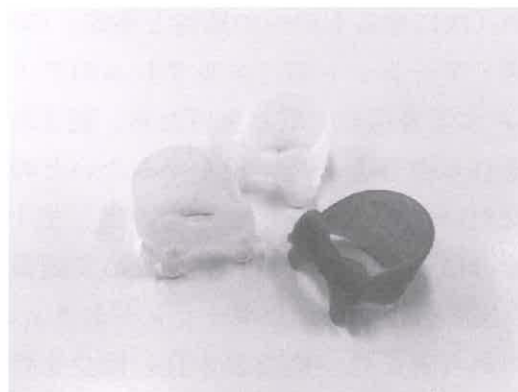


二つ目に『クリップ』。こちらは書類の多い積算の仕事にとって欠かせないものですよ。私はミドリカンパニーのDクリップを使っています。

私が持っているのはワニ柄とトリ柄ですが、他にもさまざまな種類があり、全部で24種類あるようです。このクリップをつけて他の人に渡すと、みんなかわいいと言ってくれるのがちょっとした楽しみになっています。



三つ目に『指サック』です。図面をめくっているとだんだんと手の油がなくなってきて、なかなか紙がめくれないときがありますよね。そういう時に指サックを使われると思いますが、どうせ同じものを使うなら、かわいいものを使いたいと購入しました。機能は普通の指サックですが、リボンがついており、やさしい色使いで女性らしいデザインになっています。紙をめくるだけですが、これだけで指先がかわいく見えるので、愛用しているグッズの中でも一番のお気に入りです。



最後に、私が今回紹介したものは、直接仕事に直結して何かの役に立つというものではありません。毎日の仕事にちょっとした“好き”を添えることで、楽しく仕事ができればいいなという思いで使っています。みなさんも自分の“好き”を見つけてみてはいかがでしょうか。きっと、毎日の仕事がちょっと楽しくなることと思います。

積算業務で感じたこと



(株) 二葉積算
名古屋支社
村沢 佑梨

私が積算という仕事を
知ったきっかけは、建築
の専門学校の授業でした。幼いころから住宅の広
告で間取りや外観を眺めて家の中を想像すること
が好きでした。また、学生の頃の唯一の得意科目
が数学でした。積算を知った時、私がしたい仕事
はこれだ！と直感的に思いました。

実際に積算業務に携わってみると日々、知識不
足を痛感しました。専門学校で建築を学びました
が図面一式を見た経験もなく、図面を読み取るこ
とで精いっぱいでした。分からない点も多々あり、
上司の方や先輩方に質問してばかりで少しでも
早く役に立ちたいという思いから積算士を取得
しました。入社して四年、様々な物件の業務を経
験し、少しずつ図面から多くの情報を読み取れる
ようになったことで業務が面白く感じられるよう
になり、以前よりも自信ができました。日々の業
務の中でどのようにすれば効率的にかつ、ミスを
少なくできるかなど自分なりに仕事のやり方を考
えられるようになってきたと思います。

二年前、地元の再開発物件を担当させて頂きまし
た。現在その施設が完成し、実際に生まれ育った
町で利用されている光景を見てみると、紙の中で平
面的に描かれていたものが現実の建築物として建っ
ていることが不思議な感覚でした。同時に、改めて
建築業務に携わることへのやり甲斐と感動を実感し、
積算という仕事を誇りに思えました。世の中の多くの
分野で機械化が進んでいると日々感じますが建築積
算も同様に、将来多くの場面でBIMが活用されると
考えられます。そうした時のためにも、現在まだまだ
積算士として実力不足ですが、ただ数量を算出する
だけではなく、建築を全体的に捉えたコスト感覚と知
識を身につけて成長して行きたいと思えます。

就業体験

名古屋市立工芸高等学校
建築システム科 2年 酒向 美緒

私は二年生の行事の就業体験を通し、株式会社
碓谷建築積算事務所に三日間お世話になりました。
二年生に入り、授業で積算という職業を知りました。
そこで私は積算にとっても興味を持ったので、職業体
験という機会を生かし、積算についてもっと知識を深
めようと思いました。

職業体験初日は、担当の方に積算について詳しく
教えていただきました。授業で教わったことはほんの
一部でしかなく、積算はとてつ範囲の広い分野なのだ
と学びました。その後、実際に外構図という図面か
ら材料ごとの面積を区切って求めるという拾いのお仕
事と、求めたものを表にするお仕事を体験させていた
だきました。最初は何をすればいいのか理解していま
せんでしたが、担当の方からとてもわかりやすく教え
てもらいました。理解できてからは作業のスピードもあ
がり、自分のやったことがどんどん形になっていくのが
とても楽しく、熱中して作業していました。

二日目も初日の続きをさせていただきました。手も慣
れつつ集中してできたのでスピードは上がり、面積以
外の計算もさせてもらいました。それぞれの計算に特
徴があり、苦戦しつつも理解することで得る達成感と
楽しさを味わいました。

最終日は積算に関わる様々なことを質問させてい
ただきました。どんな質問に対しても、しっかりと答え
てくださって、改めて積算をもっと勉強したいと思いま
した。

事務所の方々はとても優しく、気さくでありながら、
ひとつのミスがとても大きく影響してくるのでしっかりと
相談しながら仕事をしていたのが印象的でした。とて
も切り替えがしっかりして見習いたいと思えました。

最後に、株式会社碓谷建築積算事務所の皆さん
に助けていただきながら、楽しく三日間を送らせてい
ただきました。お忙しいところ貴重な時間を割いてい
ただき、ありがとうございます。



建設工学科の取り組み

岐阜県立岐阜工業高等学校 建設工学科 藁島 尚信

1. 学校の概要



岐阜工業高校は大正13年7月26日に岐阜県第一工業学校として紡織科・機械科・土木科の3科の設置が認可されたのが本校の始まりです。昭和23年に現在の校名である県立岐阜工業高校となり、工業化学科・電気科・色染科・普通科の4科が増え、また定時制も設置されました。現在の設置学科は全日制が、機械・電子機械・設備システム・建設工学・化学技術・電気・電子・デザインの8科9クラスで1,080名の定員となっています。定時制には工業技術科が設置されています。卒業生には山本寛斎氏やMr.マリック氏など多才な卒業生を輩出しており、在校生たちの刺激になっています。



礼儀正しく 勤労を尊び

創意工夫に努めよ の校訓のもと

社会や地域から期待される魅力ある工業教育の推進を目標に日々努力しています。

学校敷地内に建っている岐工記念館は昭和天皇が岐阜県を訪問された折に宿泊されたことで有名です。現在は登録有形文化財（文化庁）・近代化産業遺産（経産省）に指定されていますが、老朽化による破損がひどく耐震・改修工事をしてリニューアルされましたので、お近くにお越しの際には是非お立ち寄りください。

2. 取り組み状況

長く低迷していた建設業界に国の施策の方向転換により活気が戻ってくるとともに、工業高校への求人数が増大しています。それは地元企業に

人材供給を使命とする工業高校への期待感の高まりであると受け止めています。それに応えるべく、この数年の中で工業高校における教育の方向性がずいぶん変わってきているように感じます。校内で黙々と学習に励んでいた時代は終わり、教育現場は校外へ飛び出し、先生は外部の諸団体からも招聘しています。最新の教育内容の提供と地域社会との連携を推進し、教育の活性化と社会貢献により、生徒のスキルアップやコミュニケーション能力向上を目指しています。

建設工学科においても様々な取り組みをしていますので、その一部をご紹介します。

笠松陣屋ジオラマ模型を製作し笠松町に寄贈



笠松陣屋は岐阜県羽島郡笠松町にあった幕府直轄領におかれた郡代の陣屋で、笠松町図書館にある古地図以外に資料が

ありません。製作した模型は、建物の配置は正確ですが、建屋は想像で製作しています。約2年がかりで製作し、現在は笠松町の施設に展示されています。このほかにもさまざまな取り組みを笠松町と連携して実施しています。

台南高級高等学校との交流授業



台南高級高等学校が研修旅行で来日した際に、本校との交流授業を希望し実現しました。五角形の木の枡を建設工学科生徒の指導の下に製作しました。なれない中国語や英語でコミュニケーションしながらの作業は生

徒にとって良い国際交流の経験となりました。

課題研究の授業で笠松小学校に

車椅子用スロープを設置



笠松小に車椅子を使用する生徒が入学し、登下校や授業の移動に困っていたので、笠松町と連携して小学校内に3箇所のスロープを設置しました。グランド側は段差が大きく、スロープの長さが7mにもなり大掛かりな工事となりました。車椅子で通う生徒も喜んでいました。

県と連携し岐阜本巣特別支援学校

生徒との共同学習



岐阜県主催の事業で岐阜本巣特別支援学校と連携し、共同実習を実施する中で、下足箱4基を製作し設置しました。写真は支援学校の体育館の壁面に取り付けた様子です。棚内部のかさまるくんのロゴが好評でした。他の学校との交流事業も年々活発になっています。

東海工業専門学校金山校と連携し

文化祭で建方実習



平成26年度に東海工業専門学校と県下建設工学系学科が連携協定を結びました。建設業のPRのためお互いのノウハウを提供し合う取り組みです。本校の文化祭時に棟梁と専門校生徒が来校し、合同で建方の実演をしました。他にもISOセミナーや施工管理技士試験に向けての講習会の講師を派遣してもらったり、中学生の学校見学会に専門校生徒の

作品展示をするなど様々な連携をしています。建設の魅力を共同で発信していく活動は今後もますます活発になっていきます。建設工学科だけでなく岐阜工業ではすべての学科において大学や専門学校との連携の取り組みが実施されています。

東北支援で遊具の寄贈・被災地視察



東日本大震災の被災地支援をしています。木製すべり台やミニキッチンを製作して宮城県石巻市内の4カ所保育所に寄贈しました。また、被災地の状況視察として石巻市内の大川小学校跡と南三陸町防災管理庁舎跡にも行きました。

けんせつ小町の現場見学会



建設系学科に学ぶ女子生徒が増えてきました。女性が建設現場で活躍する時代がもうすぐ訪れるのではないのでしょうか。国土交通省・岐阜県建設業協会・企業と連携し女性を対象とした現場見学会も実施されるようになってきました。本校を卒業して土木の現場監督になったOGも2名います。

3. まとめ

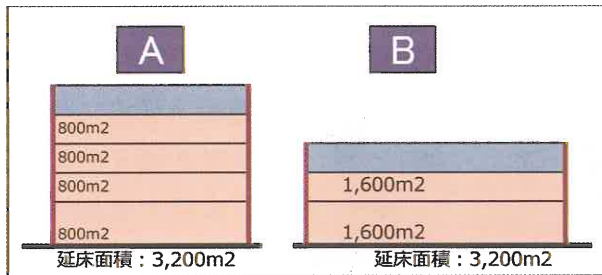
東日本大震災復興やアベノミクス、老朽化しつつあるインフラの補修や東京オリンピックの開催により建設業界に追い風が吹きました。そのニーズに逆行するように建設人口は減少しています。現在は建設業に従事する人材確保が急務となっています。少子化の影響により産業界の若手人材そのものが不足していく中で、これらの建設事業に支障が出てくることは目に見えています。問題解決のために実業高校が果たすべき役割は大きいと思います。その中において女性の登用を推し進めるべきではないかと考え、5年前から取り組んでいます。今後その活動が実を結んでいくことを期待しています。

データベース委員会より 続「コストデータ表」活用のご案内

データベース委員会 岩田 清逸

前号（支部報66号のP20、21）で「コストデータ表」活用のメリット・デメリット及び作成方法を紹介しました。本号では引き続き、データの活用事例を紹介したいと思います。ただ一言で活用といっても利用者の立場や目的により使われ方は様々であるため、今回は計画初期段階のコストプランニングでの活用例のひとつを取り上げてご案内いたします。

■「AとBでどっちが安い？」



唐突ですが、「AとB、感覚的にどっちが安い？」と聞かれたら、「条件が同じならAのほうが安い」と答えます。では、「どれくらい違う？」を問われた場合は、どう回答しますか？

前号のデメリットでも書きましたが、コストデータはいざ集めようと思っても、なかなかそうはいかないのが現実です。そこで今回は“たった1つの事例データでできるシミュレーション”を紹介します。精度という意味では概略数量を算出する概算には及びませんが、速さを必要とする場合には役に立つ方法です。

■手順

- ① できる限り目的の規模に近い事例のコストデータ表を作成する（時間がなければ必要な数値だけ取ればOK）
- ② 各部位の単価（右表の赤枠部分）を試算表の事例単価に入力する。
- ③ 必要に応じて外壁面積や基礎数のちがひ（杭工事費に影響）等による補正を入れる。

コストデータ表				
No.	10-0000	某職業安定所施設新築工事		
プロジェクト名				
建物用途	事務所	建築地	三重県津市	
構造・階数	RC造	B0-3F+PH1	工期	
建/延面積 m ²	1,600.00	3,200.00	18ヶ月	
敷地 m ² /延坪	2,758.00	968.00	延坪	
積算区分		【実施積算】		
工事内訳		千円	円/延m ²	比率
A	直接仮設	23,245	7,264	外部2,000円/延m ² 内部5,264円/延m ²
	仮設小計	23,245	7,264	2.8%
	土工事	10,556	3,299	土工建築面積当り 7,805円/延m ²
	山留・切梁・構台	1,993	623	
	コンクリート	32,987	10,308	4.0%
	型枠	51,701	16,157	6.2%
	鉄筋	28,669	8,959	3.5%
	鉄骨	2,044	639	0.2%
	デッキプレート			
	耐火被覆			
B	P	7,760	2,425	0.9%
	く体小計	135,710	42,409	16.4%
	外部仕上	116,813	36,504	14.1%
	内部仕上	106,342	33,232	12.8%
C	サイン工事			
	仕上小計	223,155	69,736	26.9%
	建築計	382,110	119,409	46.1%
	電気設備	115,745	36,170	14.0%
	給排水衛生	25,568	7,990	3.1%
D	空気調和	76,835	24,011	9.3%
	昇降機	20,904	6,533	2.5%
	設備計	239,052	74,704	28.8%
E	くい地盤	35,580	11,119	4.3%
	建築外構			
	附帯工事			
	雑種計	35,580	11,119	4.3%
F	直接工事計	656,742	205,232	79.2%
	共通仮設	27,112	8,473	3.3%
	現場管理費	145,294	45,404	17.5%
	一般管理費			
F	経費計	172,406	53,877	20.8%
	引			
合計		829,148	259,109	100.0%
部	屋根	20,178	6,306	屋根建築面積当り 12,611円/延m ²
	床	3,842	1,201	
	壁	45,405	14,189	
	天井	382	119	屋根以外 30,198円/延m ²
	開口部	39,842	12,451	
	雑	7,164	2,239	0.9%
	(外装計)	116,813	36,504	14.1%
部	床	20,947	6,546	2.5%
	壁	19,615	6,130	2.4%
	天井	13,685	4,277	1.7%
	開口部	10,914	3,411	1.3%
	間仕切	3,699	1,156	0.4%
	雑	37,482	11,713	4.5%
	(内装計)	106,342	33,232	12.8%
構造歩掛				
	数量(m ³ ,m ² ,kg)	延床面積当り	Con当り	備考
Con	2,674.0	0.836	—	
型枠	13,489.0	4.216	5,045	
鉄筋	330.0	103.125	123.411	
鉄骨	6.4	2.000	—	
備忘欄				
基礎部 躯体		建築面積当り	単価	m ² 単価
CON	960m ³	0.60m ³ /延m ²	11,506円/m ³	6,903円/延m ²
型枠	2,555m ²	1.60m ² /延m ²	3,833円/m ²	6,121円/延m ²
鉄筋	118t	0.07t/延m ²	86,876円/t	6,407円/延m ²
計				19,431円/延m ²
地上部 躯体		延床面積当り	単価	m ² 単価
CON	1,907m ³	0.60m ³ /延m ²	11,506円/m ³	6,857円/延m ²
型枠	10,934m ²	3.42m ² /延m ²	3,833円/m ²	13,096円/延m ²
鉄筋	235t	0.07t/延m ²	86,876円/t	6,380円/延m ²
鉄骨		0.002t/延m ²	319,375円/t	639円/延m ²
PC				2,425円/延m ²
計				29,397円/延m ²

↓ Aの試算シート（薄黄色部分のみ入力、右側の中段の黄色部分が算定単価）

事例データ【某職業安定所施設新築工事】

竣工時期 2001年1月
 延床面積 1,600m²
 延床面積 3,200m²

※建築面積に比例して変動
 ※延床面積に比例して変動

部材	単価	数量	金額
屋根	12.5千円/延m ²	1,600m ²	20,160千円
外部足場	2.0千円/延m ²	3,200m ²	6,400千円
外部仕上+サッシ	30.2千円/延m ²	3,200m ²	96,640千円
内部足場	5.2千円/延m ²	3,200m ²	16,640千円
内部仕上+建具+雑	33.2千円/延m ²	3,200m ²	106,240千円
地上部躯体	29.4千円/延m ²	3,200m ²	94,080千円
電気設備	36.1千円/延m ²	3,200m ²	115,520千円
空調設備	24.0千円/延m ²	3,200m ²	76,800千円
衛生設備	8.0千円/延m ²	3,200m ²	25,600千円
昇降機設備	6.5千円/延m ²	3,200m ²	20,800千円
基礎躯体	19.4千円/延m ²	1,600m ²	31,040千円
土工事	7.8千円/延m ²	1,600m ²	12,480千円
植栽費	22.2千円/延m ²	1,600m ²	35,520千円
高層工費		657,920千円	共済率
工事価格		831,020千円	26.3%
単価		259.7千円/m ²	

858千円/坪

A 試算データ

竣工時期 RC造 60-4F
 延床面積 800m²
 延床面積 3,200m²

※建築面積に比例して変動
 ※延床面積に比例して変動

部材	単価	数量	金額
屋根	12.5千円/延m ²	800m ²	10,080千円
外部足場	2.0千円/延m ²	3,200m ²	6,400千円
外部仕上+サッシ	31.1千円/延m ²	3,200m ²	99,520千円
内部足場	5.2千円/延m ²	3,200m ²	16,540千円
内部仕上+建具+雑	33.2千円/延m ²	3,200m ²	106,240千円
地上部躯体	29.4千円/延m ²	3,200m ²	94,080千円
電気設備	36.1千円/延m ²	3,200m ²	115,520千円
空調設備	24.0千円/延m ²	3,200m ²	76,800千円
衛生設備	8.0千円/延m ²	3,200m ²	25,600千円
昇降機設備	6.3千円/延m ²	3,200m ²	15,360千円
基礎躯体	19.4千円/延m ²	800m ²	15,520千円
土工事	7.8千円/延m ²	800m ²	6,240千円
植栽費	25.1千円/延m ²	800m ²	20,080千円
昇降機設備は使用の場合			
高層工費		613,200千円	共済率
工事価格		774,534千円	26.3%
単価		242.0千円/m ²	0.93

800千円/坪

■ 主要変動要素の反映

■ 外壁面積 (外周×階高×階数) 延m²当り

4F	階高	階数	面積
4F	14.2m	1	597.2m ²
2F	14.2m	1	597.2m ²
1F	17.0m	1	765.9m ²
計			1,960.4m ²

0.613m²/延m²

■ 杭の本数 (支点数) 延m²当り

5 × 10 = 50
0.0319本/延m²

■ EVの金額 延m²当り

20,800千円 = 6.5千円/延m²

■ 外壁面積 (外周×階高×階数) 延m²当り

4F	階高	階数	面積
4F	11.8m	1	496.4m ²
3F	11.8m	1	496.4m ²
2F	11.8m	1	496.4m ²
1F	11.8m	1	496.4m ²
計			1,985.6m ²

0.613m²/延m²

0.632 ÷ 0.613 = 1.03

■ 杭の本数 (支点数) 延m²当り

4 × 7 = 28
0.035本/延m²

0.035 ÷ 0.031 = 1.13

■ EVの金額 延m²当り

ベース 階数 階高 金額

(6,000千円 + (1,000千円 × フロア数)) × 2 = 20,000千円

6.25千円/延m²

6.5 ÷ 6.25 = 1.03

↓ Bの試算シート

B 試算データ

竣工時期 RC造 60-3F
 延床面積 1,600m²
 延床面積 3,200m²

※建築面積に比例して変動
 ※延床面積に比例して変動

部材	単価	数量	金額
屋根	12.5千円/延m ²	1,600m ²	20,160千円
外部足場	2.0千円/延m ²	3,200m ²	6,400千円
外部仕上+サッシ	22.8千円/延m ²	3,200m ²	72,960千円
内部足場	5.2千円/延m ²	3,200m ²	16,540千円
内部仕上+建具+雑	33.2千円/延m ²	3,200m ²	106,240千円
地上部躯体	29.4千円/延m ²	3,200m ²	94,080千円
電気設備	36.1千円/延m ²	3,200m ²	115,520千円
空調設備	24.0千円/延m ²	3,200m ²	76,800千円
衛生設備	8.0千円/延m ²	3,200m ²	25,600千円
昇降機設備	5.0千円/延m ²	3,200m ²	16,000千円
基礎躯体	19.4千円/延m ²	1,600m ²	31,040千円
土工事	7.8千円/延m ²	1,600m ²	12,480千円
植栽費	22.2千円/延m ²	1,600m ²	35,520千円
高層工費		627,840千円	共済率
工事価格		793,024千円	26.3%
単価		247.9千円/m ²	0.95

819千円/坪

■ 外壁面積 (外周×階高×階数) 延m²当り

4F	階高	階数	面積
4F	14.2m	1	597.2m ²
3F	14.2m	1	597.2m ²
2F	14.2m	1	597.2m ²
1F	17.0m	1	765.9m ²
計			1,480.7m ²

0.463m²/延m²

0.463 ÷ 0.613 = 0.76

■ 杭の本数 (支点数) 延m²当り

5 × 10 = 50
0.0319本/延m²

0.031 ÷ 0.031 = 1.00

■ EVの金額 延m²当り

ベース 階数 階高 金額

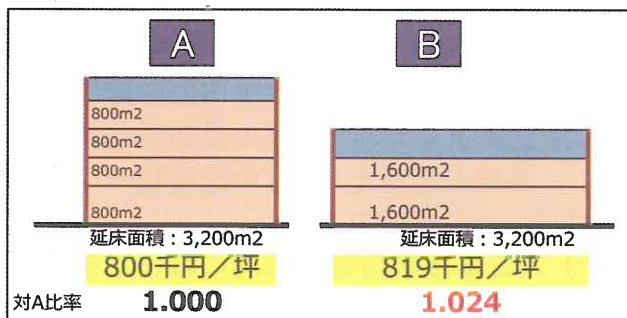
(6,000千円 + (1,000千円 × 3)) × 2 = 16,000千円

5.00千円/延m²

6.5 ÷ 5.00 = 1.30

■ 冒頭の問いかけへの回答

試算結果から回答は以下のようになります。



「たった2.4%の違い？」と思われるかもしれませんが、この試算表では「AはBに比べ、建築面積と階数が半分のため屋根と基礎部・昇降機では5,700万円ほど安くなるが、外壁面積は

1.4倍もあり外部足場と外部仕上+サッシでは、2,800万円ほど高くなる※」という根拠も、この表を見せながら説明することも可能です。

※事例仕様(RC造外壁小口タイルPHC杭19m程度)の場合です。また試算単価には事例の時期から現時点における物価補正が見込まれておりません。

この試算表では、階数の違いが大きい場合は躯体金額の補正が必要であったり、特に事例より小さい規模の工事費を算定する場合には、電気設備・機械設備のスケールデメリット(10%~20%程度割増し)の考慮も必要になりますが、ベースの事例データができていれば概ね1時間程度で算出することが可能です。

今回は同じ規模条件での違いを算出しましたが、物価補正や杭の概算見積り、設備の要求条件等の折り込みができれば、例えば「予算内で実現可能な建物規模」を逆算することもそれほど手間のかかることではありません。

最後になりますが、自身が作成したコストデータは信頼のおけるものです。必要となったときに1つずつ作る、そのひと手間があなたと会社とそれを受け継ぐ者への貴重な財産となると信じています。今回の試算データはホームページ「コストデータ表」からご利用いただけますので、ご興味のある方はお試しください。

杉原千畝顕彰事業について

広報委員 桑名 利男

- 1 目的 杉原千畝の“第二次世界大戦中における功績”と“名古屋とのゆかり”を後世にわたり市民に伝えていく。
- 2 概要 人道の道の設定
杉原千畝が住んでいた場所（中区平和）と出身校である愛知県立第五中学校（現 愛知県立瑞陵高等学校）とを結び、「杉原千畝人道の道」と名付け、ゆかりのある地点などに銘板等を設置する。（下図のとおり）

人道の道ルート図



（注）地図上の★は銘板設置場所、◆は案内板設置場所

※中京倉庫(株)関係分は高蔵橋近くの銘板④です。記載内容は以下の通り。

「命のビザ」で知られる杉原千畝は日本の外交官です。第二次世界大戦中に千畝は迫害から逃れようとするユダヤ系避難民に2千通を超えるビザを発給し、数千人の命を救いました。千畝は少年期の約10年間を名古屋で過ごし、名古屋市立古渡尋常小学校（現在の名古屋市立平和小学校）と愛知県立第五中学校（現在の愛知県立瑞陵高等学校）に通いました。千畝の功績を讃えて、当時の居住地付近（中区平和一丁目）から瑞陵高等学校を結び、「杉原千畝 人道の道」と名付けました。

1939年、千畝はリトアニア共和国の在カウナス日本領事館領事代理に就任しました。その年はちょうど第二次世界大戦開戦の年であり、欧州にあるリトアニアも戦禍に巻き込まれていきました。

当時、このあたりには名古屋工場熱田兵器製造所がありました。熱田兵器製造所から現在の雁道商店街を歩いて第五中学校までの道は、当時走っていた路面電車の高蔵駅で降りた第五中学校の生徒が通ったことから「五中街道」と呼ばれていました。

【参考】 銘板・案内板の設置現場と規格

≪ 銘板 ≫

① 平和小学校付近	② 市民会館前歩道の植栽	③ 中川区五女子・長屋跡
		
④ 名古屋市体育館前植栽	⑤ 瑞穂ヶ丘中学校正門	⑥ 瑞陵高等学校正門
		

≪ 案内板 ≫

① 沢上交差点北西側の植栽	② 高蔵公園前の植栽
	

銘板・案内板詳細

番号	サイズ 横×縦×高さ (mm)	設置場所・名古屋とのゆかり
①	1200×900×1800	平和小学校付近・家族で住んでいた場所（中区平和一丁目）
②	900×600×1650	市民会館前歩道の植栽・税務署跡（中区金山一丁目）
③	900×600×1250	中川区五女子・一人暮らし長屋跡（中川区五女子一丁目）
④	900×600×1250	名古屋市体育館前植栽・五中街道の一部（熱田区六野二丁目）
⑤	900×600×1650	瑞穂ヶ丘中学校正門・第五中学校跡地（瑞穂区高田町三丁目）
⑥	1200×900×1250	瑞陵高等学校正門・旧第五中学校（瑞穂区北原町二丁目）
①	450×600×1650	沢上交差点北西の植栽・案内板（熱田区金山町一丁目）
②	450×600×1650	高蔵公園前の植栽・案内板（熱田区高蔵町9）



『羽咋市滝谷町 妙成寺を国宝指定に向けての動き』

大谷建築積算事務所 代表 大谷 政信

私の住んでいる羽咋市は金沢市から北へ45km、能登半島の入り口に位置しています。

羽咋市の名所は、千里浜海岸渚ドライブウェイやUFO宇宙科学博物館などが有名です、今日ここで紹介するのは、羽咋市滝谷町の妙成寺の国宝化に向けての取り組みについてです。妙成寺は北陸における日蓮宗の本山で加賀藩前田家の庇護を受けるなか諸堂が造営されました。中でも三代藩主利常の生母の菩提寺として本堂(1604)・五重塔(1618)など諸堂を建立して、妙成寺の基盤を築きあげました。(※初代藩主利家公や歴代藩主の菩提寺は金沢の曹洞宗宝円寺です。やや小規模の寺院)

(※三代藩主利常は高岡曹洞宗瑞龍寺(国宝)を建立)

(※三代藩主利常の時代は加賀藩+富山藩+大聖寺藩の三藩体制(1639)の合計が120万石、つまりお金持ちの時代だったのです)

この妙成寺は全国的にも貴重な寺院伽藍を誇り、日蓮宗においても、近世初頭伽藍配置が現存する、国内唯一の存在です。

国宝に向けての動き

平成16年ごろから、『五重塔を国宝に』との運動が始まり、地元の協力を得る。

平成18年『妙成寺文化財を守る会』が発足
地元の機運が高まってくる。

平成21年『文化庁に要望』したところ、回答は国宝と言えるまでの学術的な調査が進んでいないと言う意見で、さらなる調査を期待される。

平成24年『建造物調査』諸堂の工事資料の調査

平成26年『多目的価値調査』諸堂装飾の調査

平成28年『文化財調査委員会』学術的調査開始
妙成寺・日蓮宗・地元・羽咋市・石川県・文化庁の連携・協力を願っております。

北陸だより

日本の国宝には、建造物・美術品がありますが、今回は建造物のみを調べてみました。石川県の国宝は建造物0、美術品2(雉香炉・剣)のみです、富山県の国宝は建造物1(瑞龍寺)、美術品0
福井県の国宝は建造物1(明通寺)、美術品4
国宝建築物の1番多いのは京都・奈良です。

次に日本の五重塔のみを調べてみました、江戸時代末までに作られた現存しているのが、全国で22塔でそのうち国宝は9塔、残り13塔はすべて重要文化財の指定済みです。この五重塔の22塔を比較してみます。古い建立年順では、

①法隆寺五重塔(680) 国宝

②室生寺五重塔(780) 国宝

↓

⑫妙成寺五重塔(1618) 重文

↓

⑯東寺五重塔(1644) 国宝

⑳備中国分寺五重塔(1837) 重文

つまり、⑦⑨⑩番目がまだ重文で、⑫の前にまだ3塔が国宝への順番待ちです。

高さ順位では、

①東寺五重塔(54.8 m) 国宝

↓

⑨妙成寺五重塔(34.1 m) 重文

↓

⑫法隆寺五重塔(31.5 m) 国宝

⑳室生寺五重塔(16.1 m) 国宝

つまり、⑨の前3塔が国宝で、⑨の後に国宝が6塔あります、よって高さ順位は国宝とは関連しないと思われます。

金沢城(重文)や妙成寺(重文)が、国宝指定を受ける事が出来れば、石川県観光及び能登半島観光に、多くの皆様に訪れて頂けるものと思います。

羽咋市教育委員会文化財室発行資料から引用。

岐阜だより

地域委員会

委員長 加藤 一也

平成 28 年度の活動内容は『浜岡原子力発電所の見学会』、『熊本地震に学ぶ勉強会』、『最近の景気の動向』を含め計 4 回開催しました。

活動する事に因り、東海北陸支部の目標の 1 つである『新規会員の勧誘を行い、地域部会の活性化を図る』に対して 2 名増えました。29 年度の事業計画について 4 月 24 日(月)19 時～(アパホテル大垣)に於いて総会及び懇親会を開催し、活動計画が承諾されました。

主な日程を紹介します。

- 29 年 7 月 28、29 日 第 1 回見学会(床フロアー)
- 29 年 8～9 月 第 2 回の見学会(エコ建築物)
- 29 年 10～11 月 北陸支所との意見交換会及び親睦会
- 30 年 1～2 月 飛騨、東濃方面の会員との意見交換会及び親睦会

地域委員会岐阜は総勢 47 名の会員が登録していますが、勉強会及び総会に参加される会員は岐阜市、大垣市、海津市、神戸町、名古屋市を拠点に活動し、開催場所に近接する会員のみです。

そこで、富山、石川、福井三県の会員を集めて勉強会に取り組んでいる北陸支所に出向き『やり方の手ほどき(入門編)』を学ぼうと考えています。

私が委員長に就任して会員名簿の名前だけで、顔も知らない会員の方々も見えるわけですから、委員長、副委員長は意見を聞く上において、こちらから足を運び交流を深めようと考えます。

地域に足を運んで勉強の開催、会員の方々の意見、要望を取り込み、その結果として新規会員の増員、勉強会の多数の参加に繋がればと思います。



29 年 3 月 27 日
懇親会の様子

静岡だより

～最近の災害を見て～

(株)アイピーエス 長山 充裕

梅雨も終わりに近づき、今年も暑い夏となりそうです。室内外の温度差により、体調を整えることがしんどい時期となりました。

先日の九州の豪雨では、改めて自然災害の恐ろしさを感じました。積算に携わるものとして、直接関わる部分は少ないと思いますが、こうした災害の映像を見る度に心を締め付けられる思いになります。今回の九州の豪雨災害の中で印象の強いものが、川際の小学校の建物下の一部の土がえぐられてしまい、基礎がむき出しになり、崩落寸前だった映像でした。もし、杭を施工していれば違う状況になったのでは?と思っ てしまいましたが、たとえ杭を施工していても、復旧が大変な事には変わりないかも、とも思いました。現地の方々は、大変な思いをされていると思います。

こうした災害のニュースを見る度に思う事があります。今は確かにいろんな技術が進んで、建築でも色々な工法が出てきますが、時として昔の方が考えて作られている、と思わされるときがあります。以前に熊本地震の特集をしたテレビ番組中で、石垣の被害が築造当時よりも後世で修理された時の方が大きい。築造当時の方が力のかかり具合をしっかりと計算して造られていた。とありました。神社仏閣の木造建築もそうですが、災害の多い日本で如何に災害を減らすか、という努力は昔から変わっていないとつくづく感じます。

さて、地元浜松では、災害もここ近年、大きなものではありませんが、建設関係に携わるものとして、災害への準備も必要と思いました。

賛助会員名簿

東海北陸支部

会社名	住所	電話	ホームページ
TOMOデータサービス(株)	大阪市北区天神橋7-5-23	06-6351-8452	http://www.tomodata.co.jp/
協栄産業(株) 建設ソリューション事業部	東京都大田区平和島6-1-1 TRC マラックスビル	03-3767-2345	https://www.kyoei.co.jp/fks/
(株) キング鈴井商会	名古屋市市中村区野田町字中深18-3	052-412-4112	http://www.kingsuzui.co.jp/
(株) 末永製作所	岐阜県揖斐郡揖斐川町房島1822-3	0585-22-0778	http://www.suenaga-ss.co.jp/
全国建設産業教育訓練協会 職業訓練法人 教育訓練課	富士宮市根原492-8	0544-52-0968	http://www.fuji-kkc.ac.jp/
株式会社 桜屋	名古屋市中区大須1-2-14	052-221-7481	
(株) 伊藤建築設計事務所	名古屋市中区丸の内 1-15-15	052-222-8611	http://www.ito-aei.co.jp/
(株) 建築設計センター	名古屋市西区名駅 2-23-14 VIA 141-211号	052-581-8971	http://www.kscenter.jp/
(株) 飯島建築事務所	名古屋市東区葵 1-25-1 ニッシンビル 204号室	052-937-7451	http://www.iijima-sd.co.jp/
(株) 藤尾建築構造設計事務所	名古屋市中区丸の内 1-13-11 ジャルダン桜橋5B	052-203-5857	http://www.fujio-se.jp/

建築積算士補認定校

東海北陸支部

校名	学部・学科	所在地	ホームページ
学校法人 愛知産業大学	造形学部 建築学科	岡崎市岡町原山 12-5	http://asu-g.net/univ/
椚山女学園大学	生活化学部 生活環境デザイン学科	名古屋市千種区星が丘元町 71-3	http://www.sugiyama-u.ac.jp/
学校法人電波学園 東海工業専門学校 熱田校	建築科	名古屋市熱田区花表町 19-14	http://tpchs.denpa.jp/
学校法人電波学園 東海工業専門学校 金山校	建築科	名古屋市中区金山二丁目 7-19	http://www.tpc.ac.jp/
岐阜県立国際たくみアカデミー 職業能力開発短期大学校	建築科	美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3545-3	http://www.takumi.ac.jp/
愛知県立碧南工業高等学校	建築科	碧南市丸山町三丁目 10	http://www.hekinan-th.aichi-c.ed.jp/
名古屋市立工芸高等学校	建築システム科	名古屋市東区芳野 2-7-51	http://www.kogei-th.nagoya-c.ed.jp/
静岡県立浜松工業高等学校	建築科	浜松市北区初生町 1150	http://www.hamako-ths.ed.jp/
静岡県立島田工業高等学校	建築科	島田市阿知ヶ谷 201	http://www.edu.pref.shizuoka.jp/shimada-th/home.nsf/

平成29年度（後半）の講習会のご案内

講習委員会

1. 「建築積算士ガイドブック」の講習会

建築積算士を目指す方にお奨めです。

- ・開催日時 平成29年9月2日（土） 10:00～16:00
- ・定員 20名
- ・場所 昭和ビル9階 会議室 名古屋市中区栄四丁目3-26
- ・受講料 8,000円 テキスト代 4,630円

2. 「建築コスト管理士ガイドブック」の講習会

建築コスト管理士を目指す方にお奨めです。

- ・開催日時 平成29年9月16日（土） 10:00～16:00
- ・定員 20名
- ・場所 昭和ビル 9階会議室 名古屋市中区栄四丁目3-26
- ・受講料 会員・建築積算士：7,000円 一般：8,000円
- ・テキスト代 会員・建築積算士：4,530円 一般：4,730円

3. 「建築数量積算基準・同解説（平成29年版）」の講習会

- ・開催日時 平成29年10月26日（木） 10:00～16:00
- ・定員 20名
- ・場所 昭和ビル 9階会議室 名古屋市中区栄四丁目3-26
- ・受講料 会員：7,000円 一般：8,000円
- ・テキスト代 会員：3,888円 一般：4,320円

4. 鉄骨工事の積算の講習会

- ・開催日時 平成29年11月16日（木） 10:00～16:00
- ・定員 20名
- ・場所 昭和ビル 9階大ホール 名古屋市中区栄四丁目3-26
- ・受講料 会員：7,000円 一般：8,000円
- ・テキスト代 会員：3,390円 一般：3,600円

5. 建築積算士実技研修会

建築積算士を目指す方にお奨めです。

- ・開催日時 平成29年12月9日（土） 10:00～16:00

建築数量積算基準の解説と経費、躯体数量積算の実技

平成29年12月23日（土） 10:00～16:00

鉄骨数量積算の実技、仕上げ数量積算の実技

- ・会場 昭和ビル9階会議室 名古屋市中区栄四丁目3-26
- ・定員 20名
- ・受講料 1日のみ 8,000円 2日間 16,000円

申込み方法など詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

又は ホームページの検索

積算 東海北陸 クリック

問合せ先 電話 (052)264-0661 FAX (052)264-0662

E-mail toukaihokuriku@bsij.or.jp

暑中お見舞い申し上げます



公益社団法人
日本建築積算協会 東海北陸支部

本部理事
支部長 研谷 智彦

事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26 昭和ビル2階
☎ (052)264-0661 FAX(052)264-0662
E-mail toukaihokuriku@bsij.or.jp
URL http://bsi-th.052e.com/



代表取締役

内田 宏康

株式会社 アイピーエス

本社 〒435-0036 静岡県浜松市南区渡瀬町1000の3 TEL.053-461-8866 FAX.053-461-8854
東京営業所 〒133-0056 東京都江戸川区南小岩5-6-14 TEL.03-5694-0636 FAX.03-5694-2415
携帯 TEL.090-7956-5813 E-mail magari@ips-r.co.jp



株式会社 浦野設計
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS



代表取締役社長

浦野 廣高

技術士(建設部門)

名古屋本社 〒452-0815 名古屋市中区八幡町90番地
TEL.052-503-1211 FAX.052-505-2712
URL http://www.urano-s.co.jp/
E-mail:h-urano@urano-s.co.jp
東京本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-12
TEL.03-3811-9128 FAX.03-3811-9582

再生紙使用



建築・積算・見積
有限会社 エスム積算
(公社)日本建築積算協会会員

代表取締役 杉山 祐紀

本社 〒503-0944
岐阜県大垣市横曾根4丁目13番地
TEL (0584) 89-2550・FAX (0584) 89-7841
E-mail y_sugiyama@lily.sannet.ne.jp
東京事務所 〒105-0014
東京都港区芝1丁目13番16号・NBC芝橋ビル4階
TEL (03) 3452-7164



えにし
株式会社 縁
一級建築士事務所

名古屋事務所 所長

古川 元

FURUKAWA GEN
積算士

〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目2番22号 名古屋センタービル別館
TEL 052-218-2062 FAX 052-218-2063
携帯 080-8370-6474
E-mail:g-furukawa@enishi-cm.co.jp
URL : http://www.enishi-cm.co.jp/



川辺建設株式会社

創業69周年

川辺一級建築士事務所
本社 名古屋北区清水二丁目4番10号(川辺ビル)
〒462-0844 TEL (052) 931-0181
FAX (052) 931-0187
e-mail kawabe-k@gld.mmtr.or.jp
URL http://www.gld.mmtr.or.jp/~kawabe-k

代表取締役社長

川辺 清次

一級建築士、設備設計一級建築士
一級建築施工管理技士、宅建取引主任

占紙100%再生紙



国豊積算株式会社

専務取締役 箱崎一夫

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-14-24 国豊ビル
TEL 052-332-0280 FAX 052-332-0945
支所：東京・大阪・福岡・札幌
URL http://www.kunitoyo-sekisan.com

株式会社 研谷建築積算事務所

代表取締役
会 長 とぎ 研 谷 智 彦
代表取締役
社 長 研 谷 将 紀

名古屋本社 〒466-0841 名古屋市中区広路本町 6-11-2
TEL (052) 859-0686
FAX (052) 859-0687
静岡事務所 〒413-0102 静岡県熱海市下多賀 45-5
TEL (0557) 68-5842
FAX (0557) 68-5844

暑中お見舞い申し上げます



株式会社 **中野積算**

名古屋支社

支社長 **山北大蔵**

DAIZO YAMAKITA

建築積算士

名古屋 名古屋市中村区名駅五丁目 29-10
支社 錦通KDt#

〒450-0002 TEL 052(856)6961
FAX 052(856)6960

E-mail : d-yamakita@nakano-sekisan.co.jp

本社 東京都杉並区荻窪 5-13-7
〒167-0051 TEL 03(3392)6121

支社 大阪・名古屋・仙台・札幌・新潟

株式会社 **林積算**

代表取締役 **林 進**

〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目26番39号 GS栄ビル6階
TEL 052-262-3781
FAX 052-262-3783

E-mail susumu.hayashi@hayashi-sekisan.co.jp



コストエンジニアリング&コンサルタント

株式会社 **二葉積算**
名古屋支社

取締役支社長

中川 英人

NAKAGAWA HIDETO 建築積算士・建築コスト管理士

〒460-0003

愛知県名古屋市中区錦 2-17-30(河越ビル)
TEL 052-231-8336(代表) FAX 052-231-6669
E-mail nakagawa@futaba-sekisan.co.jp
URL http://www.futaba-sekisan.co.jp

本社/東京 支社/東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌



株式会社 **棟 MUNE 建築企画**

代表取締役 **鳥居 哲夫**

Tetsuo Torii

〒460-0008 名古屋市中区栄2-5-13 アイ・エスビル2階
TEL : 052-602-9525 (代) FAX : 052-602-9526
E-mail : acmunecp@mvg.biglobe.ne.jp (代)
tetsuo.torii@mune-kenchiku.co.jp
URL : http://www.mune-kenchiku.co.jp

株式会社 **伊藤建築設計事務所**

代表取締役社長 **小田 義彦**

常務取締役 **渡邊 國雄**

本社・名古屋事務所 名古屋市中区丸の内1-15-15 (桜通ビル)
東京事務所 東京都千代田区外神田3-5-12 (聖公会神田ビル)
http://www.ito-aei.co.jp

Sakuraya ORDER MADE FURNITURE

代表取締役社長 **秋田 丈治** Takeharu Akita

ISO9001 認証取得



本社・職工場

株式会社 **桜屋** - オフィス・店舗・公共施設・住宅用待客家具 -


本社 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目2番地14号
TEL 052-221-7481 FAX 052-221-7483
E-mail : takeharu@eco-sakuraya.co.jp
携帯電話 090-6571-8175

暑中お見舞い申し上げます

BIM対応 建築積算システム FKS	次世代見積書作成システム KYOEI COMPASS <small>second stage</small>
マンション大規模修繕・改修専用 リニューアル用積算ソフト RSS	国土交通省ガイドライン準拠 長期修繕計画書作成ソフト KLC

 **協栄産業株式会社** 関西ICT営業部 関西営業課
 〒553-0003 大阪市福島区福島3-14-24 福島阪神ビルディング
 【TEL】06-6451-9781
 【FAX】06-6451-9810
 【URL】<http://www.kyoei.co.jp/fks>

 ISO9001 20001686QM08
 ISO14001 20001674JN
 ISO27001 20001686ISM5

 **TOMOデータサービス株式会社**

代表取締役
今岡 朝和

本社 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル
 TEL (06)6351-8452 FAX (06)6351-8925
 E-mail: imaoka@tomodata.co.jp
<http://www.tomodata.co.jp>

東京事務所 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル
 TEL (03)5816-7080 FAX (03)5816-7081

北陸支所会員から 暑中お見舞い申し上げます

地区	会社名	役職	氏名	TEL
富山地区	(株) 押田建築設計事務所	取締役	堀田 富士雄	076-492-1225
	(株) 鈴木一級建築士事務所	代表取締役社長	鈴木 保二	076-421-9118
	(株) 三四五建築研究所	取締役	諏訪 淳	076-421-9118
	明峰積算事務所	代表	宮西 繁	076-425-7330
	(有) 富山積算センター	代表取締役社長	笠谷 忠	0766-22-3366
石川地区	(有) 高島建築積算事務所	代表取締役所長	高島 義昭	0762-33-1330
	(有) クボタ積算室	代表取締役	窪田 和則	076-239-3471
	大谷建築積算事務所	代表	大谷 政信	076-225-3927
	RSアーキー一級建築士事務所	代表	四辻 靖信	076-248-8123
	ヤマニシ建積プランニング	代表	山西 栄一	0761-44-2844

平成29年版

公共建築工事積算基準

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部 ◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所
◎B5版・上製・約800頁 定価 8,964円(税込)

平成28年12月並びに平成29年3月の改定を反映。参考歩掛りの改定並びに最新通達も収録!

第3版

四会連合協定 平成27年2月改正

建築設計・監理等 業務委託契約約款の解説

◎編著/四会連合協定 建築設計・監理等業務委託契約約款調査研究会
◎監修/大森文彦 ◎A4判・330項・並製カバー装 定価 4,968円(税込)

一般向け用の「四会連合協定 建築設計・監理等業務委託契約約款」は制定以来、民間建築工事における国内の標準的な設計・監理等業務委託契約約款、同書類として、建築主(委託者)、設計者、監理者、工事施工者のみならず、関連機関をはじめとする建築全般に係わる多くの皆様に広く認識され、利用されている同約款書類の唯一の解説書。

四会連合協定 平成27年2月制定

建築設計・監理業務委託契約約款 (小規模向け)の解説

◎編著/四会連合協定 建築設計・監理等業務委託契約約款調査研究会
◎監修/大森文彦 ◎A4判・160頁・並製カバー装 定価 2,916円(税込)

小規模向け契約書類は、現在の建築物生産における年間の工事着工件数において、小規模建築物の工事が圧倒的に多いなどの実情を踏まえ、ユーザーにとって理解しやすく運用が簡便で業務委託契約に必要な要件を満たした契約書類として、適確な業務委託契約の締結に役立つことを目指した解説書。

 株式会社 大成出版社

<http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888
〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11

建設コストアプリケーションの協栄産業



あなたの業務にあったアプリケーションをご提案します!

建築 積算 RC数量積算システム **BIM対応**

FKS RC

伏図データから3次元へ自動展開
複雑な建物形状にも柔軟に対応

3Dモード

- 3Dモードにより建具や増打、部位の高低差を視覚的に確認し、修正も行えます
- セットバックやデッキ、壁式構造にも対応、鉄筋の定尺集計も可能
- 根切図を自動で作成し、土工・地業数量を算出、杭工事に対応

建築 積算 仕上数量積算システム **BIM対応**

FKS FN

PDFの図面から部屋形状を作成
長さ・面積・箇所を簡単計測

PDF積算

- 部屋で拾った材料は部位別（一次集計）、科目別（二次集計）に自動集計
- 設計変更に対応している為、変更後の数量差分もすぐに印刷可能
- 新築はもちろん、改修工事や概算にも利用できます

建築 見積 見積書作成システム

KYOEI COMPASS Second Stage

単価自動値入や下見積（業者見積比較）機能を搭載！
Excel感覚ですぐに使えます

- 数量、単価の割掛け機能や、見積金額の総額を固定した逆シミュレーション機能で、コスト調整を容易に実現
- 複数棟の見積書も一括値入機能で早く、ミス無く対応できます
- Excelデータの入出力機能も充実

設備 見積 設備見積書作成システム

K-ESCORT Second Stage

総合建設業様向けに新たに開発！
建設会社の視点に立った便利な機能を搭載！

- 各種資材分類別に数量・金額によるシミュレーションが行えます
- 単価や材料マスタは、支店毎/世代毎に管理され、複数保持が可能
- 工費/継手・付属品類/消耗品類などの設備一式物を、計算処理によって自動発生

設備 積算 機械設備、電気設備対応

設備積算システム みつもりくん PRO-SecondStage

PDF図面に最適なエンジンを搭載！
拾出し作業がサクサク・軽快！

- ファイル容量の大きなPDF図面でも高速表示
画面に何枚も同時表示可能で効率アップ
- 流体と管種を結び付け、流体指定で材料が決まる
土工事は埋設施工を選んで、掘削深さを入れるだけの簡単操作

公共工事 積算 建築、機械設備、電気設備対応

公共営繕工事専用積算システム みつもりくん ie

公共工事の入札における予定価格の
事後公表の対応はお済みですか？！

- 公示用設計書（PDF、Excel等）の取り込み機能で
工事内訳書を別紙明細まで一気に変換！
- 各入札エリアに合わせた複合単価を作成する機能を搭載
ボタン1つで資材へ自動値入が可能

図面比較

図面比較システム Miidel(ミーデル)

簡単スピーディに図面（PDF）比較！
変更箇所を赤と青で表示します！

- 枚数の多い図面でも一括でまとめて比較が可能！
- 紙図面のスキャンデータとCADデータのPDFの比較も対応
- 枚数の異なるデータのPDFでも問題なし！

積算といえば協栄産業におまかせください！
<http://www.kyoei.co.jp/fks>

インターネットで

積算 FKS 検索

クリック!

「積算 FKS」で検索してください

KYOEI 協栄産業株式会社 関西ICT営業部 関西営業課

Email fks@kyoei.co.jp URL <http://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-6565 東京都大田区平和島 6-1-1 TRC アネックスビル
TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318

【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島 3-14-24 福島阪神ビルディング
TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810

● 編 集 後 記 ●

梅雨前線に伴う記録的な豪雨により、九州北部を中心とした各地で、河川の氾濫や土砂崩れ等が発生し、多くの住宅などが押し流され甚大な被害がもたらされました。30名以上の方々がその犠牲になり、いまだ行方不明のかたもおられます。九州では、昨年の熊本地震に続き2年連続で大きな災害に見舞われたこととなります。

お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

さて、当支部は新しい年度を迎え、総会を機に支部長の交代がありました。前支部長の小野徹郎氏は、ご存知のとおり高名な構造の大家でありまた、大学や学会等で非常にお忙しい身でありながら、分野の異なる積算協会を五期10年の永きに亘り引っ張っていただきました。古くからの役員の方々は、先生に支部長を引き受けていただいたことをとても嬉しそうに自慢話で語られます。本当にありがとうございました。

変わって新支部長になられた碓谷智彦氏は、支部発足当時から協会の発展にご尽力された重鎮であり、積算のプロ中のプロです。総会の挨拶においても、今年度の支部活動方針として複数のワーキンググループの立ち上げを宣言され、早くも動き始めています。

支部報第67号は、続「コストデータ表」など、皆様のお仕事に直接役立つ記事から、学校紹介、委員会活動、エッセイ等多岐にわたる記事が満載です。ご一読いただければ、寄稿者の熱意が伝わってくることも間違いなしです。また、支部ホームページには、「コストデータ表のエクセルデータ」「解体廃棄物数量積算システム」など、便利な情報を多数用意していますので、是非ご活用ください。

支部報がお手元に届くころにはすでに梅雨も明け、夏本番かと思えます。この夏は、特に暑く感じられます。どうか読者の皆様、お元気でこの夏を乗り切ってください。いや、楽しんでください。それでは今後とも、支部報のご愛読並びにご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

広報委員	委員 長	堀田 淳二
	副委員 長	長山 充裕
	副委員 長	松本 利治
	委 員	加藤 一也
		桑名 利男
		後藤 学
		高嶋 義昭
		都築 修
		山田 貴

支部報 『東海北陸』 No.67

発 行 公益社団法人 日本建築積算協会
東 海 北 陸 支 部

名古屋市 中区 栄町四丁目3-26
昭和ビル 2階

☎ (052) 264-0661 (代)

FAX (052) 264-0662

URL <http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

発行日 2017年7月 吉日

積算業務の効率化に貢献する TDS Application Series

出荷本数 9000 本以上の実績！明細書作成の超決定版！

TDS [見積]

品名	数量	単位	単価	金額	...
1. 下地モルタル	100.00	㎡	1,200	120,000	...
2. 下地金網	100.00	㎡	1,500	150,000	...
3. 下地砂	100.00	㎡	1,800	180,000	...

お客様のご要望にお応えした、超簡単仕上扱いソフト！

TDS [仕上]

品名	数量	単位	仕様	...
1. 下地モルタル	100.00	㎡	1:2:4 砂	...
2. 下地金網	100.00	㎡	φ10	...
3. 下地砂	100.00	㎡	中粒	...

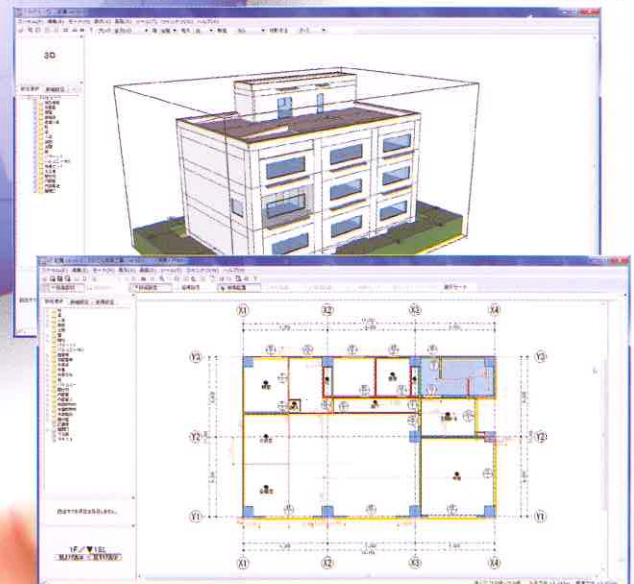
面積計算必要なし！図面計測の効率化！

TDS [イメージ計測]

品名	高さ	面積	体積	...
1. 下地モルタル	0.08	24.24	12.16	24.24
2. 下地金網	0.00	0.00	0.00	0.00
3. 下地砂	0.08	24.24	12.16	24.24

配置入力No.1！

NCS/HELIOS



※NCS/HELIOS は株式会社日積サーベイの商品です。



TOMOデータサービス株式会社

URL: <http://www.tomodata.co.jp> E-Mail: info@tomodata.co.jp

大阪本社：〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23

渋谷ビル TEL(06)6351-8452 FAX(06)6351-8925

東京事務所：〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7

龍田ビル TEL(03)5816-7080 FAX(03)5816-7081